

会長のページ 医師不足問題(再)	河野 雅行	3
日州医談 腎不全と緩和ケア	内藤 明美	4
就任挨拶 教授就任挨拶	佐土原道人	6
はまゆう随筆(その1)		7
押川紘一郎, 日高 良雄, 桐村 泰廣, 谷口 二郎, 増田 好治 山路 健, 尾崎 峯生, 小室 康男, 田崎 高伸		
エコー・リレー(611)	岸 昌廣, 太田 嘉一	15
メディアの目 ブタカツのすすめ2~名前と値札のあいだ~	前田 憲之	16
身近なお困りごと相談室	高山 桂	17
国公立病院だより 椎葉村国民健康保険病院	吉持 厳信	22
宮崎大学医学部だより 社会医学講座ー生命・医療倫理学分野ー	板井孝壱郎	24
部会だより 病院部会・医療法人部会	池井 義彦	25
ニューメンバー	秋葉 大輔	36
宮崎県医師会役員等名簿		59
診療メモ 高齢者の交通事故に潜む不整脈性意識障害 - “操作ミス”だけでは説明できない循環器学的視点 -	野村 勝政	60
宮大医学部学生のページ 部活動紹介~卓球部~	甲斐 朋美	62

あなたできますか?(令和6年度医師国家試験問題より)	14
宮崎県感染症発生動向	18
日赤だより	21
日医インターネットニュースから	26
医師協同組合だより	28
会員の異動・変更報告	30
ベストセラー	36
理事会日誌	38
県医の動き	42
ドクターバンク情報	43
行事予定	47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
あとがき	70

お知らせ 第27回宮崎県医師会医家芸術展	13
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	35
医師年金ご加入のおすすめ	37
第10回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	49
郡市医師会への送付文書	64
医療勤務環境改善支援センター	68
日州医事原稿募集のお知らせ	69

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：水彩〕

季節便り 絵手紙

その愛らしい形や鮮やかな色に心が和みガラスの器に盛ってみました。太陽の光をたっぷり浴びて育ったトマトは夏の元気の源です。自然の恵みに感謝しながら季節の輝きを込めて描きました。友人（先生）宅で皆でお茶を飲みおしゃべりをしながら描くことが私にとっての元気の源です。

宮崎市 あら新 き木 る り（会員家族）

会長のページ

医師不足問題（再）

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

宮崎県は九州でも唯一の医師少数県です。医師不足地域解消を狙って宮崎大学には地域枠入学制度が設けられ、今では40名枠となっています。通常募集では毎年100名の医学部生が入学・卒業しても2～3割しか県内に残らない状態が続いていました。それでは何年経っても解消につながりません。そこで行政や民間からの要望もあり、県内に残ってもらう手段として地域枠が設けられました。しかし、地域枠でも卒業後に残らない人がいます。それぞれに事情はあるのですが、地域枠の趣旨とは違っているように感じます。

更に、臨床研修制度が始まって年数が経ち、さまざまなほころびが目立つようになりました。1例として、研修制度は保険医になる医師を養成するための重要な制度である中で、「直美（直接美容外科）」といわれる保険医資格の必要がない自由診療に進む医師が、全国では数百人にもなるそうです。この数は卒業数から見て2～3の大学医学部が消えてしまったことになります。この問題も何か釈然としません。

古いシステムのすべてを礼賛するつもりはありませんが、以前の医局制度にもそれなりの利点があったのではないのでしょうか。入局数年後からは医局の方針のもとへき地にもあまねく赴任していました。当時の卒業生はほとんど出身校に残り、医局に十分な医員がプールされ派遣する余裕がありました。今では、教室の運営が手一杯の人員で、派遣する余力はないようです。医師をプールして派遣する仕組みは現状からみても有効であると思われます。最近では県でも医師のプール制を検討しているようです。

昭和のころは全国で200万人の出生に対して医師誕生は3千名弱でした。当時はさすがに全国で医師不足が著明であり医師養成の増員が叫ばれていました。そこで医学部を増設しかつ定員を増やしたにもかかわらず、地域によってはいまだに医師不足が問題です。人口は減少傾向が続いている中で医学部定員が3倍に増えたのにも関わらず解消されていません。逆に人口当たりの医師数が過剰の恐れもできました。それでもなお地域によっては医師不足であるのは、養成方法に問題があったのではないのでしょうか。単純に医師数のみを増やしても地域の医師不足は解消されないようです。本年度は9千名超の医師が誕生しました。現在の出生数は70万人弱なのでこのままだと80人に一人が医師になる勘定になります。これではいくらなんでも医師を作り過ぎるのではないのでしょうか。国も将来の人口動態を勘案して医師養成の適正化を考慮し始めたようです。

医療のない地域に人は住めません。官民協力してなんとか医療不均衡・過疎をなくしてほしいものです。

(令和8年6月18日)

日州医談



腎不全と緩和ケア

宮崎県医師会 前理事 ないとう あけみ
内 藤 明 美

2026年6月の診療報酬改定では、日本の緩和ケア病棟における大きな転換点となる改訂が予定されています（執筆時点5月）。それは、ホスピス・緩和ケア病棟の入院対象に、「透析の見合わせや中止を選択した末期腎不全患者」が追加される、というものです。これまで緩和ケア病棟の入院対象はがんとAIDSに限られていましたし、診療報酬上の問題があり、がん患者であっても透析患者は緩和ケア病棟へ入院することが困難でした。このため、緩和ケア医にとっては、透析・腎不全は最も縁がない領域であったと言えます。これが、「透析を中止した末期腎不全患者」「透析を導入しない末期腎不全患者」は、その終末期に緩和ケア病棟へ入院することが可能になります。

昨今、腎不全終末期への対応は大きく変化しようとしています。2024年に『透析を止めた日』という書籍が出版され、社会にたいへん大きな反響がありました。この本は、ジャーナリストの堀川恵子氏が、自身の夫が亡くなるまでを記録したのですが、そこには透析を止めた夫が、壮絶な苦痛の中で最期を迎えたという実体験が赤裸々に綴られています。この本がきっかけとなり、2025年の政府指針（骨太の方針）に「腎不全患者への緩和ケア」が含まれました。そして2025年9月には日本透析医学会などから『腎不全患者のための緩和ケアガイドダンス』が発表され、透析の継続だけがゴール

ではなく、保存的腎臓療法（CKM）も含め、患者自身の意思決定を支える方向へ動きはじめています。

腎不全患者に緩和ケアが必要とされるのは、腎不全の終末期において、時に非常に厳しい意思決定をしなければならないことや、時に大きな苦痛の中で死を迎えている現実があるためです。近年、高齢で透析導入となる患者も多く、透析で寿命は延びてもQOLは改善しない、透析を行うことの苦痛や通院負担が大きいなどの問題が生じ得ます。このため透析導入ありきではなく、患者自身が「どう生きたいか」をしっかりと話し合い、透析を導入しない選択も尊重することが重要視されるようになっていきます。この一方で透析を導入しない、または透析を中止するということは、確実に死を迎えるということですから、容易な選択ではありません。本人の希望に沿って、といえば聞こえはよいですが、本人が十分に理解したうえで最善の意思決定をするためには、十分なコミュニケーションと意思決定支援が欠かせません。また、腎不全の終末期には尿毒症の症状が出現し、呼吸困難やせん妄などの苦痛を生じます。終末期でなくとも、透析中の患者にはかゆみや浮腫、虚血による痛み、精神的な苦痛などさまざまな苦痛があることが知られており、透析をする・しないに関わらずこれらの苦痛の緩和にきちんと向き合っていくことが重要視されるようになってい

ます。

強い苦痛を伴う腎不全終末期の患者が、緩和ケア病棟の入院対象となることは、大きな一歩であることは間違いありません。しかしながらこれだけで、腎不全の患者に緩和ケアが十分に行き届くとは言い難く、多くの課題があります。まず、緩和ケア病棟の病床数は限られており、がん患者だけでも入院までに待期期間が生じているのが現状です。透析を中止した場合、その予後は10日から2週間と言われており、タイムリーに病床が確保できるかの大きな課題があります。また、これまで緩和ケア病棟では透析患者の対応をしていないため、緩和ケア病棟にとっては透析・腎不全の患者はもっとも「慣れていない」患者です。緩和ケア医が透析・腎不全について習熟する必要があります。更に、仮に透析を中止することを決めても、患者の意思は変化することが知られており、「透析を再開したい」と患者家族が希望したときに、速やかに透析医と相談できる体制を整えておくことが求められています。緩和ケア病棟のある病院に、必ずしも透析室があるわけではありませんので、院外の施設を含めどのように連携していくかは課題です。

一方、透析に関する意思決定支援や、透析中の患者の苦痛への緩和ケアは、緩和ケア病棟ではなくそのときに診療を受けている施設で必要とされるものです。2026年度の診療報酬改定では、緩和ケア診療加算、外来緩和ケア管理料、在宅麻薬等指導管理料などの対象に、末期腎不全患者が追加される方向となっており、緩和ケア病棟以外の外来や在宅においても腎不全の緩和ケアが診療報酬で評価されることになります。とはいえ、がん拠点病院のような大きな病院には専門的な緩和ケアチームがありますが、多くの透析患者さんが通院しているのは主に外来の透析クリニックです。緩和ケアチーム

が介入できる環境にはないことがほとんどです。緩和ケアを専門とする医師の絶対数は非常に少なく、外来で透析中の患者に緩和ケアの専門医が介入することは非現実的でしょう。

では緩和ケアを必要とするすべての腎不全患者に緩和ケアを届けるには、どうしたらよいでしょうか。腎不全に限らず、心不全や呼吸器疾患も同様ですが、「緩和ケアはすべて緩和ケアの専門家が提供するもの」ではありません。意思決定支援、苦痛症状の緩和、看取りのケアは基本的な緩和ケアとしてすべての医療者から提供されるべきものです。ですから、腎臓内科・透析医と緩和ケア医や在宅医が協同しながら、外来、病棟、在宅と場所はどこであっても、その主治医チームから必要な緩和ケアが届けられるような連携体制を構築していくことが必要であると思います。緩和ケア医としては、地域に対していつでも緩和ケアに関する相談を受けられるように窓口を開き、コンサルテーション体制を作っていくことが必要でしょう。看取りは、緩和ケア病棟だけではなく、在宅でも病院でも基本的なケアはいつでも提供できて、難治性の苦痛症状がある場合には、緩和ケア病棟に速やかに入院できる体制が望ましいと思います。そして一連の流れの中で、在宅医・緩和ケア医と腎臓内科・透析医はシームレスに連携できる体制が望まれます。

『腎不全患者のための緩和ケアガイドンス』の発表を受けて、2026年から宮崎市では在宅医会主催で独自に腎不全緩和ケア研修会を開始し、地域で腎不全患者の緩和ケアを推進する取り組みを開始しています。今後、このような機会を通じて緩和ケア医・在宅医と腎臓内科・透析医の相互理解が深まり、その結果腎不全患者への緩和ケアが十分に行き届くようになることを望んでいます。

就任挨拶



教授就任挨拶

宮崎大学医学部 総合診療科学講座 教授 ^{さ ど わ ら み ち と} 佐土原 道 人

2026年4月より宮崎大学医学部 総合診療科学講座 教授を拝命いたしました。大変光栄に存じますとともに、その責任の重さを深く感じております。

私は1995年に熊本大学医学部を卒業後、総合診療医を志し、民間病院グループにて、当時は一般的ではなかった複数診療科ローテーション研修を受け、各地の地域医療の現場で幅広い診療経験を積んでまいりました。総合内科専門医であり、米国内科学会フェローでもありますが、一貫して総合診療や救急の実践に取り組んでまいりました。同グループでは、全体の研修委員長として卒後臨床研修体制の整備に関わるとともに、日本専門医機構による総合診療専門研修制度の開始に先立ち、総合診療科およびそのプログラムの立ち上げにも多数携わりました。2017年からは熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座に赴任し、地域枠学生のキャリア支援や総合診療専門研修を担当し、これまで25名の専攻医育成、うち10名の総合診療専門医を輩出しております。

近年、少子高齢化、人口減少、多死社会の進行に加え、医師や診療科の偏在、医療費の増大など、地域医療が直面する課題は複雑化しています。このような中、臓器別専門医療をつなぎ、多様な健康問題を抱える患者さんを全人的に支える総合診療の役割はますます重要となっています。宮崎県は九州唯一の医師少数県であり、高齢化率も高く、地域による医療資源の偏在も大きい県です。中山間地域が多く南北に長い本県では、地域の実情に応じた包括的な医療提供体制の構築が求められています。また、2

年後には定員40名となった地域枠学生が医師として地域に出てくることから、地域医療を担う人材育成も重要な課題となっています。

こうした社会的背景に、国ではかかりつけ医機能の制度化や特定機能病院に総合診療専門研究プログラムの設置の要件化など、総合診療を支える制度整備が進められ、医学教育においても、「総合的に患者・生活をみる姿勢」が重視されるようになりました。宮崎大学では、卒前教育から専門研修までをシームレスにつなぐ教育体制を整備するとともに、大学病院における総合診療科の役割モデルを探索してまいります。また、医師会の先生方をはじめ、地域の医療機関、行政、自治体との連携を深めながら、診療・教育ネットワークの構築に取り組んでまいります。学生実習や専門研修においても、多くの先生方のお力添えをいただくことになるかと存じます。

私は、宮崎県の医療事情に応じた総合診療のあり方を探求するとともに、「地域を知り、地域で育ち、地域に定着する」医師の育成に力を注ぎたいと考えております。将来どの診療科に進んだとしても、患者さんや地域住民の生活背景を理解し、地域のニーズに応じて多職種と協働できる「総合診療マインド」を持った医師を育成することが、宮崎県の持続可能な地域医療につながると考えております。宮崎大学医学部総合診療科学講座が、地域医療と医師養成をつなぐハブとしての役割を果たせるよう尽力してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

はまゆう随筆

その1

(7, 8月号に分けて掲載しております)

傘寿と自転車

宮崎市 押川整形外科医院 おし かわ こういちろう
押 川 紘一郎

私と自転車の付き合いは長い。幼稚園入園翌日より、現在の交通事情と社会情勢ではとても考えられないが、一人で補助輪付きの小さな自転車で通園した。

平和台線の道路を横切り、江平交差点近くの幼稚園まで1キロ足らずの距離であったが、毎日が冒険気分であった。2年目は、途中地元のガキ大将たちの妨害を乗り越えて、後ろに妹を乗せて通園した。地元の暖かい見守りもあり、3年間無欠席で卒園した。

小学校に入学すると、自転車も新しくなった。地域に開放されていた小学校の運動場で、夜遅くまで手放し走行やスラロームなどを競い合った。子どもたちにとって自転車は楽しい交流の手段でもあった。

高校での自転車は、もっぱら通学専用であったが、簡単な変速機をついた自転車で、青島や、西都原などに出かけ、活動範囲が飛躍的に広がった。大学時代は、東京で過ごしたが、車優先の社会では、交通事故の危険性が大きく、自転車に乗る機会もなくなった。

宮崎に帰省後、自転車から離れていた反動から、バイク（呼び名も変わりました）の世界にのめり込んだ。トライアスロンに出会ったこともあり、競技1年目に初心者向けのスティール製のロードレーサー、2年目にカーボンとチタ

ン製の超軽量（7kg）モデル、そして、4年目に体型に合わせたカーボン製のカスタムバイクを購入し、指宿、五島列島、宮古島の国内大会からハワイまで、バイクを携行して毎年エントリーし、すべて無事故で完走した。

私にとってバイクは、今後とも最良の移動手段となるはずであったが、今年から車と同様の規制が始まった。中でも歩行者用道路の原則走行禁止と、車道走行が基本のルールは、気力体力の低下した傘寿サイクリストにとって、自転車禁止宣告を受けたも同然である。

自転車には、バックミラーもバックモニターも方向指示器もなく、ブレーキも前輪後輪不安定で、タイヤのグリップも弱い。ハンドルはふらつきやすく、照明や反射板も不十分で後方の車からほとんど認識できない。

ドライバーの皆様、傘寿らしき自転車の追い越しには、くれぐれもご注意ください。



「スポーツ吹矢沼」にはまっています！

宮崎市 宮崎県健康づくり協会 ^ひ日 ^{だか}高 ^{よし}良 ^お雄

皆さんは、スポーツ吹矢をご存じでしょうか。
20cmのプラスチック製の矢（重さ1g）を長さ120cmの筒に込め、6m・8m・10mと距離を伸ばしながら、直径24cmの的の中心（半径3cm、6cm、9cm、12cmの同心円）をめがけて吹く競技です。

退職後、現在の職場に勤める前の何もせず時間を持て余していたころ、公民館講座のチラシで吹矢講座を見つけ、16人のメンバーの一人として参加しました。

全5回の講座で、最初は5mという近い距離からの練習で、意外と中心（7点）に当たり、これがとても楽しく感じられました。講座修了後には自分用の道具（セットで2万円ほど）を購入し、2023年9月から講座仲間5人と月2回のペースで継続して吹矢を楽しむようになりました。

スポーツ吹矢は、ただ吹けばよいというものではなく、弓道に似た「型（基本動作）」があります。

的に向かって一礼し、足を肩幅に開き、体を的に対して45度に構えます。矢を筒に入れ、息を吸いながら3秒で筒を頭上まで上げ、ゆっくり息を吐きながら9秒かけて下ろします。再び息を吸いながら筒を的に向けて、口に咥え、一気に吹きます。吹いた後は筒を胸の前に伸ばし、息を整えながら6秒で下ろし、また矢を筒にいれて吹くという動作を5回繰り返して、最後に的に向かって礼をします。この一連の動作を1ラウンドといい、試合では6ラウンドの合計点（満点210点）で競います。

現在ではメンバーも13名（全員65歳以上、

最高齢は85歳）となり、私が支部長として月2回、楽しく活動を続けています。

指導者に励まされたこともあり、昇級・昇段試験（日本スポーツウエルネス吹矢協会公認）を受け、昨年10月には3段に合格しました。

県内では年に3回ほど競技大会がありますが、残念ながら入賞にはまだ届きません。初めて参加した大会では、まるで仙人のような白髪・白ひげの高齢の方が、美しい姿勢（型）で190点以上を記録して優勝され、その姿に深く感心しました。

私ももう少し“沼って”，いつかは優勝を目指したいと考えています。

『森のオーケストラ』

～こんなご褒美が待っているとは

諸塚村 国民健康保険諸塚診療所 ^{きり}桐 ^{むら}村 ^{やす}泰 ^{ひろ}廣

腎がんから劇的に寛解を遂げた寺山心一翁さんは主治医の反感を食らい病院を追い出されてしまいました。死が迫りくる現実の中で、毎朝自宅屋上の陽光からエネルギーを受けていたといいます。

ある日、夜明け前に突然鳴き出す鳥の声に一定の法則があることに気づきました。

「鳥は日の出の42分前に鳴き始める」と。鳥が一番よく鳴くのは朝である理由はまだ科学的には解明されていませんが、彼は「鳥が鳴くのはたくさんの酸素が必要なので、朝、植物が光合成をして酸素を出し始めたところに鳴くのだろう」と推測しました。

「鳥が鳴き始め、日が昇るまでの42分間の空気が特別に新鮮である。そしてがんが転移した

右肺にとってその空気はとてもいいものだった」と、その後40年あまり天寿を全うされるまで自己治癒力の力を信じて生きた人でした。

私は還暦の年に縁あって諸塚診療所に勤務することとなりました。おかげさまで今年古希を迎えますが、この森の中の診療所で「森のオーケストラ」を毎朝、夜明けとともに味わえるとは思っていませんでした。

診療所に泊まることの多い私の医局は耳川の支流に面しています。5月の諸塚村の朝の5時はまだ薄暗くベランダに出ると、川の流れる音、鳥たちやカジカの鳴き声が聞こえてきます。自然から受ける恩恵に感謝しながら、諸塚村にどんな恩返しができるだろうかといつも考えながら仕事をしています。

音楽スタートは洋楽カバー

宮崎^{たに}市^{ぐち} 谷^じ 口^{ろう} 二郎

先日テレビで「洋楽カバー100年史」という番組を観た。私は音楽大好き人間であるが、まさに私の音楽の出発点が洋楽カバーである。私が幼いころからそれは始まった。その幕明けになった曲は江利チエミの「テネシーワルツ」と越路吹雪の「愛の讃歌」である。しかしまだそのときは小学校低学年で、その曲の思い出はあるのだが、ぼんやりとしか記憶はない。

小学校高学年になると次々と洋楽カバーの曲が流れ大ヒットした。弘田三枝子の「ヴァケーション」、田代みどりの「パイナップル・プリンセス」、飯田久彦の「ルイジアナ・ママ」、中尾ミエの「可愛いベイビー」、坂本九の「ステキなタイミング」、九重佑三子の「ロリー・

ポップ・リップス」、伊東ゆかりの「渚のデイト」など数えきれないほどの曲がラジオから流れてきた。

曲はほとんど米国の曲で、アメリカが一番裕福な時代だったのだろう。曲にパンチありメロウな部分あり、心がワクワクさせられる曲ばかりであった。詞もすばらしかったが、なんと言ってもそのメロディーラインが素晴らしかった。英語がまだよく分からない年齢だったので、洋楽カバーの曲を日本語でよく歌っていた。

しかし中学生になったとき、衝撃的な曲が流れた。それはビートルズである。その当時は全く気がつかなかったのだが、そのメロディーライン、テンポ、各曲違う曲の作りにメロメロになった。そしてビートルズの出現で洋楽カバーの時代は終焉を迎えた。みんな歌詞を英語のまま歌った。日本語は洋楽に必要なくなったのである。

歌詞の意味は分からなくても、英語で歌うことは格好よかった。日本語の歌なんてダサくてお呼びでなかった。

そうは言っても、やはり歌詞の意味が分からないまま歌っていても仕方ないと考え始めた。それに気付いたのは800万人もいる団塊の世代の若者だった。そして辿り着いたのが日本のフォークソングである。

吉田拓郎、井上陽水などの若者が自分で作詞、作曲をしギターをかかえて歌うスタイルに変貌したのだ。つまり、洋楽カバーは姿を消してしまったのである。

しかし私の音楽の原点は洋楽カバーにある。当時の音楽を聴くことでタイムトリップすることができる。それは私にとっては至福の一時なのだ。

～神様へのお礼とお返し～

宮崎市 増田病院 ^{ます}増 ^だ田 ^{よし}好 ^{はる}治

本年3月15日をもちまして、満88才の誕生日を迎えることと相成りました。しみじみと喜びとともに周囲のすべてに感謝の心を込めて接しているところです。と申しますのも、私事でございますが、昨年5月末、私の右上腹部に手拳大のしこりを触れ検査で肝癌と判明し対策を構えることになりました。直径9 cm程度の大きさでついに自分にも来るべき運命が訪れたかと覚悟を決めました。周りの先生方と相談のうえ、宮大医学部附属病院に入院し腫瘍に対する塞栓術を施行することに相成りました。無事に手術も成功し更には10月には追加の塞栓術も行い、年を越して行った造影CT検査で腫瘍の消失をみました。

このようにして、本年3月無事に米寿の誕生日を迎えたのでした。

非常にありがたいことですが、私の人生の中で命にかかわることはすでに2回もありました。

私事です、7才のとき、二次大戦後朝鮮からの引き上げ船に乗っていて壱岐の島の沖の海上で並列で進んでいた隣の船が機雷に触れ沈没し、多くの人が海の藻屑として命を落としたことがありました。また、10才のとき猛暑の畑で作業中、夕立の襲来があり木の下で雨宿りを勧められたが断って、雨で体を冷やしていました。そこに凄まじい雷鳴と光が走り畑の土にまみれて耐えましたが、雨がやみ立ち上がって周りを見たら雨宿りの木から煙が立ち登り私の下肢ぐらいの枝が引き裂かれてぶら下がり煙が漂っているのが見えました。雷に打たれて死なずにすんだと胸をなでおろした体験まで思い出しました。

人生の中で3度も生命の危機を逃れた体験を経て感謝の心とともに神様が私を生かしておいて何をさせようと考えていらっしゃるのか、何をすれば神様へのお返しになるのかを考え残りの人生をお返しに使っていきたいと思っています。

カ メ ラ

都城市 山路医院 ^{やま}山 ^じ路 ^{たけし}健

真冬の早朝、鶴居村の音羽橋からタンチョウ鶴を撮影した。そこでは20人くらいの方が今か今かとカメラを向けている。日の出後しばらくすると鶴たちが餌場に飛んで行く。その風景を撮影するために寒さに堪えて佇んでいました。鶴が飛び立つとカメラマンたちは大忙しです。

ところが、シャッター音がしません。音がするのは私のカメラだけです。

皆さん、ミラーレス機だったのです。動物撮影には無音のミラーレスがいいですね。連写スピードもミラーレス機が上手です。そして眼にピントが合わせられます。フィルム時代は気合を入れてシャッターボタン押しても現像するまで結果はわからなかったですが、今はすぐわかるし、データ容量が大きいので莫大な量を撮影出来ます。

カメラの性能の凄さにも驚きます。最新機種では、シャッター半押し約0.5秒前から撮影されるものもあります。速い動きをする動物には最適かと思いました。

私が使用しているカメラも販売終了。付け替えレンズもほぼ販売終了です。ミラーレス機に乗り換える準備をしなきゃと思う今日この頃です。今までのレンズがアダプター使用で使えるのが救いです。

ヨットが教えてくれたこと

日向市 尾崎眼科 ^お尾 ^{ざき}崎 ^{みね}峯 ^お生

研修医時代、熊本県天草のヤマハ・マリーナに足を運び週末にヨット操船を習っていました。私の「なんちゃってヨット生活」で学んだことは、自然の強さ、恐ろしさです。ヨット（ディンギー）は帆に風を受け、船底のボードで横流れを防ぎながら前進バクトルの力で風上に向かって斜めに上ることもできます。しかし、風が強いと艇全体が風下に流されてしまいます。陸では心地よい風も、ヨット上では暴風のように感じる場合があります。

ヨットにも慣れたある日、仲のよい後輩に「ぜひヨットに乗せてほしい」と頼まれ、一緒に海へ出ました。かなり遠い沖合まで出てからタッキング（船首を回頭させて、帆の位置を変える）の練習をしてもらうと、艇が重く不安定なことに気づきました。はっと気がついたのは、中空になっているヨットの排水栓を^げ下^か架直前にチェックしていなかったことです。まさかと思いましたが、当時は他艇の排水栓が持ち去られたと思われる事例もあったようです。すべては注意深く点検していなかった自分の責任でした。

このままでは、岸から遠く離れており危険だと感じたので、急いでヨットハーバーを目指しました。残念ながら徐々に艇は沈み始め、「おそらく栓が取れているので、徐々に沈むが艇そのものは完全には沈んでしまわないし、僕はライフジャケットを着けているので大丈夫」と話しながら海に浮かんでおりました。携帯のない時代です。このまま後輩に何かあったら、彼のお母さんに何と謝ったらいいのか。不安が大きくなったころ、遠くにヤマハのレスキュー

ボートが見えました。予定時間になっても帰ってこない我々を探しに来てくれたのです。ヤマハのスタッフには感謝してもしきれません。私たちは沈んだヨットにつかまって曳航され、ようやくマリーナにたどり着きました。

5月の水温は冷たく、水流で急激に体温を奪われ、寒さでガタガタ震えました。近くにある温泉に長く入っていても震えが止まらなかったことを思い出します。後輩とともに天草沖で「沈」したヨットは、てげてげだった私に始業点検（術前点検）の重要性を厳しく教えてくれました。



私の趣味

宮崎市 小室医院 こむろ やす お
小 室 康 男

私は物心ついたところから野鳥に異常なほど興味を持っていた。捕獲し飼育することに関しては趣味というよりは、もはや病気であった。その結果小学6年生ごろまでには、鳴き声や、姿を見れば名を言い当てることができるようになっていた。更に生態や捕獲法まで知っていた。また子どもの頭では空を飛ぶということでは鳥と同じと考えていたのか、蝙蝠こうもり捕りにも興じていた。キクガシラコウモリといったが、比較的大きく胴体は大人の拳大で毛色は明るい茶色であった。翼を広げると20cmぐらいにはなる。洞窟の奥に潜んでいるので、捕獲は至難であった。悪友たちと洞窟の前で焚き火をし、煙にむせて飛び出してくるのを網で捕らえていた。俊敏なので、1匹捕らえるのがやっとであった。ところで山の焚き火は遠くからでも見える。今ならすぐに大人たちが飛んできて大騒

ぎになるはずだが、あのころはのんびりしていたのか誰かに注意されたという記憶はない。捕らえた蝙蝠はもちろん飼育していた。なぜそんなことを？と聞かれたものだが、答えようがない。好きだからである。子どものころ昭和30年代は、野鳥の捕獲、飼育にはおおらかなところがあった。ほとんどの家庭の軒先には野鳥を入れた鳥籠が下げてあった。またあの時代は小鳥は愛玩の他に食べ物でもあった。皆は秋になると喰うための鳥罟を仕掛けていた。的確な場所を選択すれば結構とれていた。私は生きたまま捕らえていたので多くはなかった。持って帰ると父にまた捕ってきたのか！と叱責に近い言葉をもらっていた。好きだから仕方がないと舌を出していた。頻回になると何も言われなくなった。根性勝ちである。月日が流れて、最近野鳥捕獲は厳禁である。また年々野鳥も減少している。私の鳥病も加齢とともに醒めつつある。しかし野鳥を見るといまだに胸が騒ぐ。完全に枯れてはいないようだ。

俳句

四季咲の薔薇

宮崎市田崎皮膚科医院

田崎

(高詩伸の門)

初夢は未だ患者の手を取りて

紫木蓮雲ひとつなき朝の空

春一番母のドレスで発表会

庭に佇ち辛夷こぶしの白に励まされ

たはいなき対話患者と明けやすし

誕生日父へと初夏のラインの絵

吾植へし四季咲の薔薇大輪に

大盛況万博終へて秋に入る

蝉がらがまだ残りをり冬の庭

冷え込む夜電気毛布に妣思ふ
(妣はは亡き母のこと)

お知らせ

第27回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展が8月12日(水)より5日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は103点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月12日(水)～16日(日) 10時～18時（最終日のみ15時まで）

場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：写真，書道，絵画，その他作品

出 展 者：会員および家族（高校生以上），宮崎大学医学部医学科学生

問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局
(TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550)

写真部門

大森 史彦 (児 湯)	河野 莉里歌 (宮大医学部医学科)	木佐貫 冬星 (南那珂)*
酒井 和彦 (都 城)	酒井 桂子 (都 城)*	酒井 美絵子 (都 城)*
佐々木 究 (宮 崎)	嶋田 剣吾 (宮大医学部医学科)	田中 宏幸 (宮 崎)
玉置 昇 (宮 崎)	永野 元章 (宮 崎)	濱川 俊朗 (宮 崎)
原 政樹 (宮 崎)	福岡 周司 (南那珂)	山路 健 (都 城)

書道部門

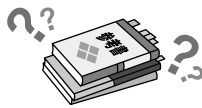
大迫 文子 (宮 崎)*	岡村 公子 (延 岡)	川島 友香 (宮 崎)*
長野 晶子 (宮 崎)	山内 励 (宮 崎)	弓削 三重子 (宮 崎)*

絵画部門

新木 るり (南那珂)*	安藤 宣 (西 都)*	石川 万佐子 (宮 崎)
内田 攻 (宮 崎)	蛭原 功介 (南那珂)	大塚 早智 (西 諸)*
大西 敦子 (宮 崎)*	黒川 基樹 (宮 崎)	佐々木佐代子 (宮 崎)*
高田 真愛 (宮大医学部医学科)	田原 莉央 (西 都)*	長沼 弘三郎 (延 岡)
野崎 藤子 (宮 崎)	淵脇 和男 (都 城)	松本 健吾 (宮大医)

(敬称略・各部門50音順・6月26日現在)

*は会員ご家族で，カッコ内にはご家族である会員の所属郡市医師会を記載しています。



あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は41ページ)

1. 母子保健法で規定されているのはどれか。
 - a 定期予防接種
 - b 児童虐待に係る通告
 - c 人工妊娠中絶の要件
 - d 低出生体重児の届出
 - e 就学時健康診断の実施
2. ホルモン受容体異常症はどれか。
 - a 骨軟化症
 - b Basedow病
 - c 慢性甲状腺炎
 - d 副甲状腺機能亢進症
 - e 偽性副甲状腺機能低下症
3. 鼠径部レベル以下の全感覚消失の脊髄損傷レベルはどれか。
 - a 第4頸髄
 - b 第5胸髄
 - c 第10胸髄
 - d 第1腰髄
 - e 脊髄円錐部
4. 大腿静脈の周辺臓器の解剖で誤っているのはどれか。
 - a 鼠径靱帯は坐骨結節に付着する。
 - b 鼠径靱帯の頭側には後腹膜腔がある。
 - c 縫工筋は大腿三角の一辺を構成する。
 - d 大腿静脈は大腿動脈の内側を走行する。
 - e 大腿神経は大腿動脈の外側を走行する。
5. 76歳の男性。倦怠感を主訴に来院した。2か月前から食事をとってもおいしくなく、倦怠感が出現した。趣味にしていた野球観戦をしなくなり、気分が落ち込んでいる。外出頻度が減り、1日のほとんどを自宅内で過ごしている。身長168cm、体重62kg。体温36.1℃。脈拍64/分、整。血圧138/88mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。四肢の筋力は保たれており、起立と歩行に異常を認めない。改訂長谷川式簡易知能評価スケールは30点（30点満点）。血液所見：Hb14.2g/dL、白血球6,700。血液生化学所見：総蛋白6.9g/dL、アルブミン4.2g/dL、尿素窒素18mg/dL、クレアチニン0.9mg/dL。
この患者の状態で正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 低栄養
 - b うつ状態
 - c 閉じこもり
 - d 認知機能低下
 - e ロコモティブシンドローム
6. 主要な曝露源が魚介類摂取であるのはどれか。
 - a 鉛
 - b カドミウム
 - c メチル水銀
 - d 塩化ビニルモノマー
 - e テトラクロロエチレン
7. 精神症状と障害される精神機能の組合せで正しいのはどれか。
 - a 恐怖——思考
 - b 無為——意欲
 - c 離人症——発達
 - d 両価性——自我
 - e 学習障害——知能
8. 顔貌の特徴と疾患の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 下顎突出——先端巨大症
 - b 仮面様顔貌——Parkinson病
 - c 眼球突出——Sheehan症候群
 - d 眉毛脱失——Cushing病
 - e 満月様顔貌——Basedow病
9. 高齢者の入院時の栄養評価で低栄養が疑われるのはどれか。2つ選べ。
 - a 褥瘡
 - b 難聴
 - c 腰痛
 - d 高血圧
 - e 体重減少
10. 48歳の女性。左手関節痛を主訴に来院した。1か月前からフライパンなどを持つときに左手関節痛がある。外傷歴はない。職業は調理師で1日8時間を週6日間、厨房で作業を行っている。左手関節橈側に腫脹と圧痛を認める。筋力低下と感覚障害を認めない。指関節に異常を認めない。左母指を他の4指で握り込み、手関節を尺屈させると疼痛が誘発される。右手に症状はない。
考えられる疾患はどれか。
 - a ばね指
 - b 関節リウマチ
 - c 手根管症候群
 - d 肘部管症候群
 - e de Quervain病

エコー・リレー

(611回)

(南から北へ北から南へ)

延岡に帰ってきて

延岡市 岸医院 岸 きし 昌 まさ 廣 ひろ

まず自己紹介させていただきます。私は福岡県で生まれました。小学校6年生のときに、父の医院継承に際して、祖父が開業していた延岡に転居しました。高校卒業までを延岡で過ご

し、福岡大学に入学、卒業しました。平成18年(2006年)から福岡大学病院で卒後臨床研修を行い、平成20年(2008年)に福岡大学筑紫病院・消化器内科に入局させていただきました。その後、各医療機関で研鑽を積ませていただき、令和4年(2022年)、延岡に帰ってきました。現在に至り、地域医療の一助となれるよう日常診療に努めております。さて、従来であれば、皆様この辺りから趣味の話などを書かれておられます。しかし、本稿を書いていて気が付いたのですが、わたくしには趣味らしい趣味がありません。一体何を書けばよいやら見当が付きません。そういえば、ゴルフに興味がある時期がありました。今回、久しぶりに、ゴルフクラブを見てみました。7番アイアンを随分前に折ってしまい、そのままのを、忘れていました。それでも困らないほどに、足が遠のいていることに気が付きました。釣りに興味がある時期もありました。今回、久しぶりに釣り道具を見てみると、糸が複雑に絡み合っていました。小一時間ほどの格闘のすえ、糸を切りました。糸の結び方をインターネットで調べてみると、いろいろな結び方があり大変興味深かったです。今年は、ゴルフクラブを修理して、釣り糸の結び方を覚えようと思います。忙しくなりそうです。

[次回は、延岡市の板野 晋也先生をお願いします]

隔世遺伝？

都城市 メディカルシティ東部病院 太 おお 田 た 嘉 よし 一 かず

還暦の手前で子育てが一
段落し、ゆっくりできる
と思っていましたが、娘が結
婚し2年前に初孫(彼)が
誕生しました。もちろん自
分の子どもが誕生したとき
もすごく嬉しかったのです

が、ご多分にもれず、仕事柄、家内に任せっき
り(今で言うワンオペ)の状況でした。夜自宅
に帰ると、娘から「また来たの?おじちゃん」
と呼ばれ苦笑い。自分なりに無我夢中で子育て
をした記憶しか残っていませんでした。諸先輩
から「孫はいいぞ、責任もないし、ゆっくり世
話できる」と聞いていたので、誕生を心待ちに
していました。彼は同じ12月生まれ、頭の形が
私と一緒にした。爺になると、どこか似ている
ところをつい探してしまいます。それから携
帯で写真や動画を撮りました。2~3か月で笑
顔を見せてくれて、片言の単語を発するよう
になりました。今では自分の感情を長文で話す
ようになりました。その様子を見るだけでも
楽しいのですが、なんと好きなものが一緒だ
ったのです。例えば私の好きな果物が桃なの
ですが、彼も大好物です。美味しそうに食べ
ながら「じいじの好きな果物だね」と言っ
てくれます。また私は幼児期から車が好き
でしたが、彼も車が好きみたいで、両手にお
気に入りのミニカーをずっと握りしめていま
す。そんなところも一緒なのかと、親バカな
らぬ爺バカになっています。彼のためにと
時々ミニカー購入をしながら、車の英才教
育をしています。周囲は少し呆れていま
すが、彼のおかげで自分の趣味も楽しめて
います。

[次回は、宮崎市の高橋 典子先生をお願いします]

メディアの目



ブタカツのすすめ2 ～名前と値札のあいだ～

時事通信社 前宮崎支局長

まえ だ のり ゆき
前 田 憲 之

前回、ブタカツによる人間の幸福について考察したところ、思いのほか好評であった。そこで今回は視点を変え、「豚の幸せ」について考えてみたいと思う。

きっかけは、えびの市で保護された迷子豚のニュースである。後に「トントン」と名付けられたその豚は、親切な方に引き取られ、新しい暮らしを手に入れたようだ。実に結構な話である。しかし記事を読みながら、どうにも別のことが気になってしまった。トントンは保護される前も豚だった。保護された後も豚である。変わったのは名前だけだ。なぜ私たちは、その豚には名前を付けるのに、とんかつになる豚には名前を付けないのだろうか。犬や猫なら話は比較的単純だ。名前を付けて、可愛がって、家族になる。ところが豚は少し事情が違う。豚カフェでは撫でられ、写真を撮られ、膝の上で昼寝をする。その一方で、同じ日の夕食にとんかつを食べる人もいる。実際かなりいる。私もおそらくその一人だ。

愛される豚と、食べられる豚。その二つが同じ社会の中に、何事もなかったかのように同居している。同じ豚でありながら、その扱いは驚くほど異なる。量子論を持ち出すのは少々乱暴だが、豚という動物は人間の認識の中で「家族」と「食材」の重ね合わせ状態にあるように見える。もちろん現実の豚は量子ではない。しかし名前が付いた瞬間、その豚を人は「家族」として観測し始める。医学の世界では、豚は意外なほど人間に近い存在として扱われている。心臓や血管の構造は人間に似ており、臓器移植研究にも利用される。脳の仕組みにも共通点が多いという。しかも豚の脳には、人間と同じようにドーパミンやオキシトシンが存在する。要するに、喜びや安心、人とのつながりに関わる

物質である。つまり豚も、おいしいものを食べれば機嫌がよくなり、仲間と寄り添えば安心する。

考えてみれば当たり前だ。豚カフェで昼寝をしている豚を見ると、それがよく分かる。あれはもう見事なものである。警戒心という部署が完全に閉店している。「本日の業務は終了いたしました。ご用件のある方はあす以降にお願いいたします」そんな寝顔である。どうやら豚にも豚なりの幸福があるらしい。安心して眠れること。お腹が満たされること。仲間がいること。誰かに優しくされること。並べてみると、どこか人生相談の模範解答のようだ。豚の幸せを考えていたはずなのに、気が付けば人間の幸せについて考えている。どうも豚という生き物には、人間を少し哲学的にってしまう力があるらしい。そして再び最初の疑問に戻る。トントンと、とんかつになる豚の違いは何だろうか。豚の側から見れば、どちらも同じ豚である。違うのは人間の認識だけだ。名前を付ければ家族になる。値札を付ければ商品になる。重ね合わせているのは豚の運命ではなく、人間の認識そのものなのかもしれない。だから私は、とんかつを前に手を合わせる行為には意味があると思う。宗教ではない。礼儀である。豚は生きて癒やし、去って滋養となる。撫でられて幸福を生み、食べられて幸福を生む。なんという存在の多重性だろうか。もはや経済動物というより幸福発生装置である。

今日も私はブタカツを続ける。豚を愛でること。豚に感謝すること。そして時には衣サクサクのヒレカツ定食をいただくこと。そのどれか一つではなく、全部まとめて豚への敬意なのである。それが私のブタカツである。

ありがとう、すべての宇宙のブタたちよ。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第59回 Google口コミ・誹謗中傷対策



Q.

外来対応に不満を持った患者と思われる人物から、当院のGoogle口コミに「誤診された」「金儲け主義の病院だ」など事実と異なる内容が投稿されました。投稿内容は具体性に乏しいものの、閲覧者に悪印象を与える表現であり、削除依頼や法的対応を検討すべきか悩んでいます。医療機関として口コミへ返信する際の注意点や、名誉毀損に該当する可能性、削除請求の方法、投稿者特定の可否などについて教えてください。また、対応を誤ることで更なるトラブルに発展するリスクがあればご教示ください。

まず、日々、患者のために診療を行っている医療機関にとって、Google口コミに「誤診された」「金儲け主義の病院だ」などと投稿されることは、現場の医師やスタッフが強い憤りを感じるのは当然であり、他の患者に誤解を与え、病院の信用を傷つけるおそれもあります。そのため、このような不当な書き込みに対しては適切な対応を行う必要があります。

対応にあたって最も注意すべきことは、医療機関側が口コミ欄で感情的に反論しないことです。例えば、「当院は誤診していません」「患者様にはこのように説明しました」などと記載すると、受診の有無や診療内容に触れることになり、守秘義務や個人情報保護の問題が生じるおそれがあります。また、強い表現で反論すると、投稿者が更に反発し、追加投稿やSNSでの拡散など、二次的なトラブルに発展する危険もあります。返信する場合は、「このたびはご不快な思いをされたとのことで、真摯に受け止めております。個別の診療内容については公開の場でお答えできないため、必要に応じて当院窓口までご連絡ください」など、冷静で中立的な内容にとどめるのが適切です。

削除を求める場合は、まず投稿内容、投稿日、URL、スクリーンショットを保存し、証拠化しておきます。そのうえで、Googleビジネスプロフィールから、虚偽の内容、誹謗中傷、不適切な投稿などとして任意削除の申請を行うのが一般的です。任意に削除されない場合には、強制的な削除を求めて裁判所への削除仮処分、発信者情報開示命令の申立てなどが検討対象となります。

ただし、投稿内容が抽象的で、単なる感想や評価にとどまると判断される場合には、削除や投稿者特定が認められにくいこともあります。悔しいお気持ちはもっともですが、対応を誤ると、かえって病院側が批判される事態にもなり得ます。まずは証拠を確保し、公開の場での返信は慎重に行い、必要に応じて法的対応を検討することが重要です。

A.



(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～5月～

令和8年5月4日～令和8年5月31日（第19週～第22週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例（男性8例・女性4例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症6例：都城（3例），宮崎市（2例），高鍋（1例）保健所管内から報告があった。患者が3例，無症状病原体保有者が3例であった。年齢は0～4歳，30歳代が各2例，20歳代，40歳代が各1例で，原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられた。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2例：宮崎市，日南保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と80歳代で，性別は男性1例，女性1例であった。主な症状として発熱，頭痛，下痢，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，出血傾向，刺し口があった。

○日本紅斑熱1例：高鍋保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，性別は女性であった。主な症状として発熱，発疹，肝機能異常等がみられた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代であった。主な症状としてショック，DIC，軟部組織炎がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で病型はAIDSであった。AIDS指標疾患は非ホジキンリンパ腫で，主な症状として悪性リンパ腫，発熱がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市，都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と90歳代で，主な症状として発熱，意識障害，肺炎，菌血症がみられた。

○梅毒6例（男性3例・女性3例）：宮崎市（5例），都城（1例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹等がみられた。

○百日咳4例：宮崎市（2例），日南，高鍋（各1例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタカートがみられた。ワクチン接種歴は有りが1例，不明が3例であった。

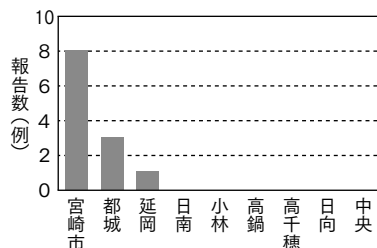


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数

肺結核	3
肺結核及びその他の結核（結核性ぶどう膜炎）	1
その他の結核（結核性胸膜炎，結核性心膜炎，リンパ節結核）	4
無症状病原体保有者	4

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	2
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	2
70歳代	3
80歳代	2
90歳代	1

表3 腸管出血性大腸菌感染症原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O157 (VT2)	3
O115 (VT1)	1
O血清群不明 (VT2)	1
O血清群不明 (VT型不明)	1

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	2
早期顕症梅毒Ⅱ期	3
無症状病原体保有者	1

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	4
30歳代	1
60歳代	1

表6 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
5～9歳	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は1,553人（定点あたり102.7）で、前月の86%，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の96%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は3,989人（定点あたり142.5）で、前月の約76%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，手足口病で，減少した主な疾患はインフルエンザ，RSウイルス感染症，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症，手足口病であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は157人（5.6）で前月の約3.0倍であった。宮崎市（9.8），中央（9.0），日南（6.5）保健所からの報告が多く，15歳未満が全体の約7割を占めた。

手足口病の報告数は558人（37.2）で前月の約1.2倍，例年の約2.0倍であった。日向（62.0），延岡（50.5），都城（47.0）保健所からの報告が多く，6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

前月との比較

	2026年5月		2026年4月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	7	0.3	119	4.3	
新型コロナウイルス※1	157	5.6	53	1.9	
RSウイルス感染症	58	3.9	103	6.9	★
咽頭結膜熱	38	2.5	40	2.7	
溶レン菌咽頭炎※2	215	14.3	270	18.0	
感染性胃腸炎	328	21.9	554	36.9	
水痘	30	2.0	58	3.9	
手足口病	558	37.2	458	30.5	★
伝染性紅斑	11	0.7	25	1.7	
突発性発しん	36	2.4	31	2.1	
ヘルパンギーナ	70	4.7	63	4.2	
流行性耳下腺炎	2	0.1	2	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	42	7.0	36	6.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	4	0.6	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	
急性呼吸器感染症	3,989	142.5	5,223	186.5	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

○急性呼吸器感染症（ARI）^{※1}サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

検出病原体			検出数
インフルエンザ ウイルス	A 型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B 型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			6
RSウイルス	A 型		1
	B 型		0
パラインフルエンザ ウイルス	1 型		0
	2 型		0
	3 型		0
	4 型		0
ヒトメタニューモウイルス			1
ライノウイルス			8
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
新型コロナウイルス・ライノウイルス			1
ライノウイルス・アデノウイルス			1
検出せず※2			21
受付検体数			39

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

検出病原体		件
細菌	Salmonella Enteritidis (O9:g,m:-)	1
	Coxsackie virus A6	1
	Epstein-Barr virus	1
	Coxsackie virus A9	1
	Measles virus genotype B3	2
	Measles virus	1
	Influenza virus B (Victoria Lineage)	4
	Parvovirus B19	8
	Rhino virus A	1
	Adeno virus C89	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2026年5月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人（2.7）で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年5月（2.9）と同程度であった。

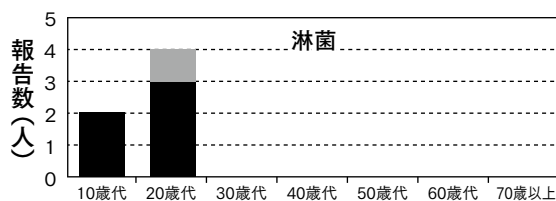
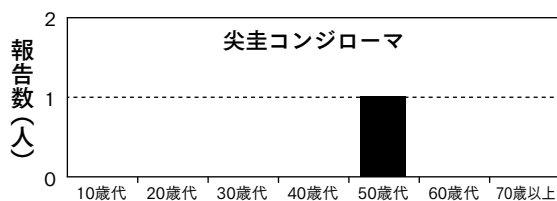
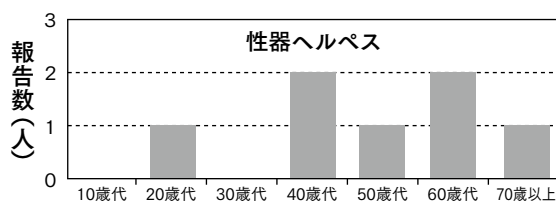
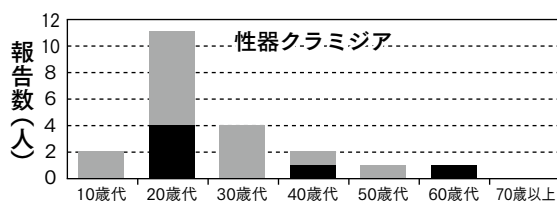
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数21人（1.6）で、前月の約1.2倍、昨年5月と同率であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性6人・女性15人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約0.9倍で、昨年5月の約0.8倍であった。（女性7人）

○尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月及び昨年5月の約0.3倍であった。（男性1人）

○淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約1.2倍、昨年5月の約2.0倍であった。（男性5人・女性1人）



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人（2.6）で、前月比129%と増加した。また、昨年5月（2.6）と同率であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人（2.6）で、前月の約1.3倍で、昨年5月と同率であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

日赤だより

【宮崎県赤十字血液センター】

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

求ム!献血血

現在、血漿分画製剤の国内自給率は急激に下がっています。医療現場での安定供給に対する懸念が高まっています。

輸血用血液製剤については、100%が献血由来で確保されているものの、血漿分画製剤については一部を輸入に依存せざるを得ない状況となっています。免疫グロブリン製剤をはじめとする血漿分画製剤は、神経難病等の治療対象疾患の拡大により、需要が急速に増加している状況で、国内での原料血漿確保が追いつかない実情があります。

血漿成分献血は、献血ルーム「カリーノ」で献血ご協力をお願いします。



マンゴー
ハートちゃん

※献血は、
ご予約をお願いします。

ご予約は、
「ラブラッド」を
ご利用ください。

詳しくはLINEを
ご確認ください。



宮崎県赤十字血液センター
献血ルーム「カリーノ」
0985-23-0007

国公立病院だより

椎葉村国民健康保険病院



よしもち げんしん
吉持 厳信 院長

私が椎葉村に赴任したのは2002年9月。気づけば、約四半世紀。椎葉村も少子高齢化・過疎化の荒波の中にあり、24年前、赴任当時3,500人だった人口も減少。現在は2,100人。宮崎

市とほぼ同じ面積の椎葉村にその2,100人が谷筋に点在する10の集落に住んでいる。地域の核であった「いわゆる団塊の世代」がそのまま24歳年をとり、村民の平均年齢も高齢者中心の当院外来入院患者の平均年齢もそれだけ上昇。いつまでも現役で働く環境が椎葉の高齢者の若さを保っているとは言え、24年分、地域力は落ちている。

数年前の土曜日の午後だった。病院から20kmほど離れた地区に住む当時84歳のMさん、意識障害のある患者を自家用車で連れてこられた。

「彼のお母さんから頼まれた」と。患者は低血糖発作で、治療後改善。Mさんも安心され、「車に乗せるときは、こっちの心臓が止まるかと思った。俺がこう抱えて、車に運び入れてさ。これで最後にしてもらわんと」と、ほっと一息。Mさんは心臓に持病があるが、長年その地区の「何かあったときの頼りになる存在」。Mさんのような長年「地区の頼りになる存在」だった方がポツポツいなくなっている。Mさん自身も2年ほど前、当院で最期の時を迎えられた。

当院は昭和36年開院以来、宮崎県椎葉村、唯一の病院として長年地域住民に親しまれてい

る。当院は村のほぼ中心にあり、平成7年に完成した現建物は職員、村民が大切に使用しているため、とてもきれいである。年間10名ほど研修に来る医学生、研修医に感想を聞くと決まって「病院はきれいで、思ったよりずっと大きいですね」と、言ってくれる。

標榜科は内科、外科、整形外科、総合診療科の4科。主な患者は「椎葉村民の高齢者」。そのため総合診療科的な業務が主となる。一般診療の他、発熱外来。コロナやインフルエンザおよび小児への予防接種、学校健診、周辺地区への往診や訪問看護を行っている。

2006年より病院から20kmほど離れた財木、杵尾地区で巡回診療を開始した。それぞれの利用者は10名ほどである。両地区ともピーク時の利用者は20名弱であったが、地区人口の減少に連れ、利用者も減っている。2016年には40kmほど離れた大河内地区でも巡回診療が開始された。大河内地区も開始時、距離は20kmであったが2年連続の台風災害により迂回路の迂回路となって現在は40km、1時間強かかる。

救急業務も大きな役目である。上記の台風災害による復旧工事が必要な道路が村内ではまだかなり残っており、陸送での患者搬送は以前より大きな負担を患者さんにも、医療スタッフにも与えている。日向市や延岡市に患者陸送時、同乗スタッフは進行方向に向かって横乗りのうえ、処置やバイタル測定しながら2時間、患者さん共々、ひどい車酔いになる。それでドクヘリ搬送や、防災ヘリでの搬送は、椎葉村にとって、その迅速性や患者負担の低減に大きく貢献している。

当院は一般病床30床、医師3名を含めて職員46名の小さな病院。

平均外来患者75名、平均入院患者13名と人口減少にともなって減少している。対象人口が減少しても、スタッフが高齢化しても24時間

365日の救急を維持していくには最低限、現状の体制維持が必須である。毎年職員全体で業務改善に取り組んでいる。

当院の目標は大きく「椎葉村民にとっての世界一のかかりつけ病院」を目指している。

あるとき椎葉村を訪ねて来た知人に「椎葉村の人はいいわね。知っている人のいる病院で治療できるから」と言われたことがある。何よりも患者さんへの距離の近さが、当院に「椎葉村民にとっての世界一のかかりつけ病院」となる資格を与えている。当村は「広大な中山間地域のみ」という医療行政上、非効率な地形。しかし予防接種率、検診受診率など実際の医療行政は都市部より、ずっときめ細やかである。理由は、医療行政サービスを各論対応しているから。つまり「病院まで1時間以上かかる80歳以上の高齢者」に対する対策ではなく、「向山区の椎葉ばあちゃんが当院に毎月通院するにはどうしたらよいか」の対策を全村職員で作成している。

椎葉村では、「病を診る」だけの医療はない。病院に一度来たときだけの診療、つまり「点だけの医療」もあり得ない。経過を追っていく「線としての医療」だけで済まされる患者

も少数である。ほとんどの患者が当院に全人的な「面としての、いや立体としての医療」を任せてくれる。このことが救急医療にも大きく役立っている。CT、エコー、内視鏡、レントゲン、生化学、末梢血分析器など、基本的な医療機器しかないが、努力しだいで「椎葉村民にとっての世界一のかかりつけ病院」になれると思っている。

病院は椎葉村の少子化対策にも貢献している。赴任以来ほぼ毎年産休、育休者があり、ざっと数えると35人の赤ちゃんが与えられている。現在椎葉村は病院を運営している最も小さな自治体の一つではないかと思っている。多くの問題があるが今後も「病院」の形態を維持できたらと願っている。

椎葉村には平家落人以前から、幾多の困難を乗り越えて1,000年以上もの間、人が住み続けている。困難を乗り越えるため「かてーり」と呼ばれる相互扶助の精神が、村民の心に根づいている。今後病院運営に関わるいろいろな課題も「かてーり」の心のもと、誠実に日々の医療を行っていけば、自ずと解決につながっている。



椎葉村国民健康保険病院

宮崎大学医学部だより

社会医学講座 ー生命・医療倫理学分野ー



いた い こういちろう
板井孝壱郎 教授

当教室の前身は、宮崎医科大学であった平成14年4月、私が専任講師として着任しました折に、基礎教育講座「哲学・倫理学」教室としてスタートしましたが、平成15年に宮崎大学医学部となりました際の講座再編にともなって「社会医学講座 生命・医療倫理学分野」となりました。その後、平成22年4月より板井が初代教授として着任させていただいております。また同年、新設された宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科「生命倫理コーディネーターコース」ではコース長として、宮崎のみならず、鹿児島、熊本、大分、静岡、愛知、東京の医療機関から13名の修士院生を迎え入れ、8名の学位取得者を送り出しました。現在2名が在籍しており、これまでの入学者は看護師が多い傾向にありましたが、近年すでにPhDを取得されているような20年近い臨床経験のある医師が「さらに深く臨床倫理を学びたい」という向学心をもって入学してくださるようになり、今年3月には初めて小児科の医師が「総合周産期母子医療センターを有する地域中核病院における重症心身障がい児の終末期に対する小児科医の捉え方に関する研究」という課題に取り組み、学位を取得されました。在籍中の内分泌・代謝・糖尿病を専門とする医師は、勤務先医療機関における「臨床倫理コンサルテーション」を中核的に担う職務にも就いておられることから、とりわけ高齢者をめぐる「倫理問題」の特性について質的研究の手法を用いて鋭意解析中です。来年度もまた県外の脳神経内科医が当大学院に関心を持ち、今秋の受験を

検討してくださっており、大変ありがたく思っております。

医学部附属病院においては平成24年より中央診療部門に「臨床倫理部」が創設され、当方が部長を務めさせていただいております。臨床倫理部副部長には、医療安全管理部長でもある綾部貴典教授に兼務していただいております、事務職員の三浦由佳里（上級臨床倫理認定士有資格者）と私の主に3名体制で対応しています。令和6年度診療報酬改定の際、入院料通則において「人生会議（ACP）」が義務付けられ、また集中治療領域における「重症患者初期支援充実加算」（300点/日、上限最大900点/3日）の施設要件として「入院時重症患者対応メディエーター」の介入が求められることから、当院では「臨床倫理認定士」がその役割を担っております。更には、集中治療医学会・救急医学会・循環器学会・緩和医療学会による「4学会合同指針」が早ければ今夏ごろには「改訂」となる見込みです。今回の指針改訂では、特に人工呼吸器の「取り外し」に関しては「安易な抜管」とならないように、PCPS^{*1}やCHDF^{*2}、IMPELLA^{*3}など「生命維持治療の差し控え・中止/終了」という臨床決断をする際には、多職種で構成された医療・ケアチームによる「臨床倫理的な検討」が必須となり、必要に応じて「臨床倫理委員会」や「適切なトレーニングを受けた臨床倫理に習熟した」専門家による「臨床倫理コンサルテーション」が組織的に実践できる体制整備が必要であることも明記されます。

現場の医療従事者が「倫理的ジレンマ」を抱え込んでバーン・アウトすることのないように、令和6年10月より拝命しております病院長補佐（医療倫理担当）としても、より一層「臨床倫理の支援体制」を強化、充実させていきたいと思っております。

^{*1} Percutaneous Cardiopulmonary Support

^{*2} Continuous Hemodiafiltration

^{*3} カテーテル型補助人工心臓

部会だより

病院部会・医療法人部会



いけい よしひこ
池井 義彦
病院部会長



あかさ いくたろう
赤須郁太郎
医療法人部会長

宮崎県医師会病院部会会長の池井義彦です。現在、全日本病院協会の常任理事を務めさせていただいております。日頃よりの病院部会の運営にご協力いただき感謝しております。

宮崎県医師会病院部会は、今まで、全日本病院協会宮崎県支部と日本医療法人部会宮崎県支部を中心に運営・活動してまいりましたが、昨年の理事会および総会において、日本病院会宮崎県支部と共同して活動していくことが承認されました。これで、四病院団体協議会のうち3団体が協力し、病院経営における諸問題に対応していくことになりました。

現在、宮崎県医師会病院部会の会員数は106病院で、全日本病院協会会員は74病院、宮崎県医師会医療法人部会の会員は64法人、日本医療法人協会会員は63法人、日本病院会会員は15病院になっております。上部団体の理事会、支部長会にそれぞれの支部長・副支部長が参加し、中央情勢に関して議論し、国に対する要望を行っております。

昨年度は各団体において、病院経営の危機を訴え、補正予算の確保、更には令和8年度診療報酬改定の議論を行い、アンケート調査、調査データに基づく改定に対する要望を繰り返し行いました。結果としては、満足といえるものではありませんが、ある程度の効果があったと考えております。

昨年度の宮崎県医師会病院部会の活動は、会員の生涯教育充実の目的で合同研修会を、令和7年12月6日に、全日本病院協会会長の神野正博先生に「縮みゆく社会の中で病院の持続可能性を考える」の講演をいただきました。会員福祉対策として医療従事者研修会を、令和8年3月7日に、株式会社Career Peko 代表取締役 横山由美様に「心をつなぐコミュニケーション～選ばれる病院になるために」の講演をいただきました。また、全日本病院協会学会参加促進を目的とした、補助金制度を開始し、会員病院の充実を図ることになりました。

現在、病院を取り巻く環境は大変困難な状況が続いております。少子高齢化、他産業との給与格差などによる医療従事者の減少。更なる物価高騰、人件費上昇が病院経営を圧迫しております。これらの問題は、2年に1回の診療報酬改定では対応できないと思われ、中間での再改定を求めていく必要があると考えています。

また、医療機関とりわけ病院にとって、大きな問題は、消費税の問題であります。現在の非課税制度下における「控除対象外消費税＝損税」の問題です。これまで、医療機関はこの「控除対象外消費税」を負担し続けてきました。つまり、機材購入や仕入れにかかる消費税を価格に転嫁できない「損税」に苦しんでいます。控除対象外消費税分を診療報酬に上乗せして補填することになってはいますが、毎回問題点が発生しており、診療報酬補填の仕組みには限界があると思われます。この問題を皆様と共有し、議論を深める必要があると考えます。

今年度は、病院の経費節減を目的とした、共同購入の案内・説明会を5月29日に行いました。また、例年同様に研修会、講習会を行い、有意義な情報発信に努めていく所存です。

日医インターネットニュースから

■医療保険制度改革法が成立

厚生労働省が提出した医療保険制度改革関連法案は5月29日の参院本会議で、与野党の賛成多数で可決、成立した。自民、日本維新の会、国民民主、参政の各党は賛成、立憲民主、公明、共産、れいわ新選組の各党は反対した。

同法には、OTC類似薬の薬剤費の一部を保険給付外とする「一部保険外療養」の創設や標準的な出産費用の無償化、後期高齢者医療の窓口負担・保険料への金融所得の反映などを盛り込んでいる。施行期日は原則として2027年4月1日。

●趣旨・内容を丁寧に周知 上野厚労相

同法の成立を受け、上野賢一郎厚生労働相は同日、厚労省で記者団の取材に応じた。医療保険制度を持続可能なものにする観点から「大変意義のある法案を成立することができた」と語った。その上で「国会審議でもさまざまな意見を頂いた。この法律の趣旨や内容を国民に分かりやすく、丁寧に説明していくことも重要。しっかり力を入れて取り組みたい」とも述べた。

(令和8年6月2日)

■出産無償化「施行時期は丁寧に検討」

— 厚労省 —

上野賢一郎厚生労働相は5月29日午前の閣議後会見で、標準的な出産費用の無償化を盛り込んだ医療保険制度改革関連法案が同日の参院本会議で成立する見通しであることに触れ「施行時期は丁寧に検討する」と述べた。

妊婦の経済的負担軽減を早く求める声がある一方、地域の周産期医療体制を維持する観点から給付水準の設定などを丁寧に検討する必要があると説明した。

(令和8年6月2日)

■算定期間と賃金改善の期間「一致を」

— ベア評価料、疑義解釈 —

厚生労働省保険局医療課は5月29日付で発出

した2026年度診療報酬改定に関する疑義解釈（その7）で、ベースアップ評価料の算定期間と賃金改善の実施期間は一致する必要があると説明した。

例えば今年6～12月まで算定し、この間に得られた収入を6月から27年3月までの賃金改善に充てるようなことは原則的に認められない。ただ、26年4月から賃金改善を実施する場合は、同6月から27年5月までに得られた収入を26年4月から27年3月までの賃金改善に充てても「差し支えない」。

ベア評価料を算定する施設で働く職員が、他施設でも勤務している場合の同評価料の区分計算の考え方も説明。それぞれの施設で職員の勤務実態に応じ、常勤換算などの方法で「基本給等総額」を按分して区分計算を行うよう求めた。これは他施設がベア評価料を算定しているか否かにかかわらず、扱いは同じ。

●届け出は保険医療機関が地方厚生局へ

このほか、ベア評価料の施設基準の届け出を巡り、届出書の作成を法人本部などがまとめて行った場合でも、届け出自体は各保険医療機関が所管の地方厚生（支）局に行うよう説明。賃金改善実績報告書や賃金改善中間報告書の提出も同様に、保険医療機関が届け出を行う。

ベア評価料の対象となる「事務職員」は、医師事務作業補助者（医療クラーク）や、診療情報管理士を含む「主として事務を担当している者」と示した。

厚労省が発出した事務連絡は「疑義解釈資料の送付について（その7）」。

(令和8年6月5日)

■マンジャロ「適正な使用を」

— 上野厚労相 —

上野賢一郎厚生労働相は6月5日の閣議後会見で、2型糖尿病治療薬「マンジャロ」のダイエット目的での利用が広がっていることを踏まえ、「思わぬ副作用につながる可能性も否定で

きない。適正な使用をお願いしたい」と呼びかけた。

マンジャロは血糖値を下げるものの、嘔吐や下痢、食欲減退などの副作用がある。上野厚労相は、SNS上で個人間売買が広がりつつあるとの認識を示し「注意喚起を行うとともに、違法行為に対しては厳正に対処する」とした。一部のクリニックで自由診療として販売されていることについては「医療法に基づき、都道府県を通じて適切に状況を把握し対応する」とした。

(令和8年6月9日)

■ベア評価料の届け出、大幅アップを期待 — 松本会長 —

松本吉郎会長は6月10日の定例会見で、今月1日に施行された2026年度診療報酬に言及し、ベースアップ評価料の5月の届け出状況が、直近の数値として示した3月時点を大幅に上回っていることに期待感を示した。中東情勢の影響による物価高も踏まえ、「今回改定が、物価・賃金の上昇に十分対応できているかどうか、しっかりと検証していく必要がある」と述べ、検証結果などを踏まえながら、今後中医協で意見を主張していく考えを示した。

松本会長は、ベア評価料について「医療機関の給与状況などがますます深刻になっていることから、算定に関する問い合わせが格段に増え、診療所の届け出状況も非常に高くなっていると聞いている」と説明。6月から算定するために必要だった5月の届け出状況が、日医が示した3月時点の無床診療所59.2%、有床診療所70.0%を大幅に上回っていることを期待した。

実際の経済・物価動向が、今回改定時の見通しから大きく変動し、医療機関の経営状況に支

障が生じた場合、27年度予算編成でさらなる調整を行うとされていることから、改定の影響を検証していく必要性も指摘。予算編成に向けた国の議論に間に合うよう、「厚生労働省とも調整しながら、医療機関の経営状況を把握していく」との考えを示した。

(令和8年6月12日)

■健康スポーツ普及へ3資料を作成 — 日医委員会 —

日医は6月10日の会見で、会内の運動・健康スポーツ医学委員会（委員長＝津下一代・日本栄養大教授）がまとめた答申を発表した。年代や特性に合わせた運動・スポーツの普及に向け、学校医向けなど3種類の資料を作成した。

学校医向け資料では、子どもの運動習慣が、全くしない人と過度にしすぎる人の両極端になっている課題を踏まえ、適度な運動の必要性とともにスポーツ障害を防ぐための休養の重要性についても触れている。

生活習慣病療養計画書作成の補助資料は、年齢・指導項目別の食事指導や運動指導に関する資料や、患者向けのレベル別筋力トレーニングの写真入りの解説などを盛り込み、直接患者に配布できるようにした。このほか、産業医向け資料も作成した。

会見で長島公之常任理事は「答申・資料を全国の医師に広く活用していただくとともに、国とも緊密に連携し、国民がライフステージに応じて運動を楽しみ、健康で豊かな人生を送れる社会の実現に向けて努めたい」と話した。

(令和8年6月16日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID：会員ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

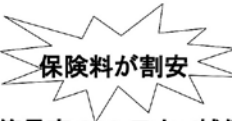
《休診共済のご案内》 ～医師の休業を補償します～

入院・自宅療養を問わず
通算 **800日** 迄
補償します

満 **89歳** 迄
新規加入OK!

医師の **診査** 不要!

【特長】

- 医師が医師のために作りあげた保険ですので  保険料が割安 になっております。
- 疾病や災害による就業不能時の休業損害を通算最高 800 日まで補償します。
- お申込みにあたり、医師の診査は不要です。簡単な告知のみでご加入いただけます。
- 保険金は他の保険に加入と関係なく、支払われます。
- 満 18 歳から満 89 歳までの方が新規加入いただけます。
- 加入後は 1 年ごとの自動更新です。
※面倒な更新手続きは不要です。更新時の健康状態にかかわらず更新します。

【補償内容】(こんなときに保険金をお支払いします)

病気	発病した疾病の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として 5 日以上継続して就業不能状態に陥った場合。 【疾病休業保険金】 <u>休業 5 日目</u> より加入口数に応じて給付。
災害	不慮の事故を直接の原因とする傷害の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として就業不能状態に陥った場合。 【災害休業保険】 <u>休業 1 日目</u> より加入口数に応じて給付。

- 入院，自宅療養を問わず，また病気，傷害を問わず幅広く補償します。
- 通算最高 800 日まで補償します。（一疾病，一傷害は，180 日を限度）
- 保険金の受取人は被保険者自身となります。

【保険金額と加入口数】

契約日または更新日の年齢	1 口	2 口	3 口
満 65 歳未満	日額 7,000 円	日額 14,000 円	日額 21,000 円
満 65 歳以上	日額 5,000 円	日額 10,000 円	日額 15,000 円

※保険料例（月払） ……40 歳 1 口 1,600 円， 2 口 3,200 円， 3 口 4,800 円

男女共通です

……45 歳 1 口 1,800 円， 2 口 3,600 円， 3 口 5,400 円

……50 歳 1 口 2,000 円， 2 口 4,000 円， 3 口 6,000 円

【年齢と加入口数の限度】

契約日または更新日の年齢	加入できる口数
満 18 歳から満 24 歳	1 口限度
満 25 歳から満 79 歳	3 口限度
満 80 歳から満 84 歳	2 口限度
満 85 歳から満 89 歳	1 口限度

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL：0985-23-9100

FAX：0985-23-9179

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

6月のベストセラー（宮崎県）

集計：2026年6月1日～6月23日

1	掬えば手には	瀬 尾 まいこ	講 談 社 文 庫
2	青 天	若 林 正 恭	文 藝 春 秋
3	イン・ザ・メガチャーチ	朝 井 リョウ	日本経済新聞出版
4	次元の挿し木	松 下 龍之介	宝 島 文 庫
5	月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった	川 代 紗 生	サンマーク出版
6	科学的に証明されたすごい習慣大百科	堀 田 秀 吾	SBクリエイティブ
7	20代で得た知見	F	KADOKAWA
8	ブティック	池 井 戸 潤	ダイヤモンド社
9	リカバリー・カバヒコ	青 山 美智子	光 文 社 文 庫
10	人生は気分が10割	キ ム ・ ダ ス ル	ダイヤモンド社

＜認可特定保険業者＞ 公益社団法人 日本医師会

ご加入のすすめ

加入資格
64歳6カ月未満の日本医師会会員
(会員区分は問いません)

保険料は
いつでも
増減できます!
余裕資金は随時払で
まとめて
増額できます。

人生100年時代に
一生涯受け取れる
年金を準備できます。

予定利率は**1.5%**[※]
 事務手数料は
 払込保険料に対して
0.25%

昭和8年4月時点

キャリアによって
年金制度が変わる
医師の
ライフスタイルに
あった年金です。

醫師年金

医師としての使命を果たすあなたに。
医師年金でキャリア後の
安心を手に入れましょう。



ぜひ
お試し
ください

[illegible]

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金額のシミュレーションができます。



醫師年金 檢 索

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

公益社団法人 **日本医師会** 年金福祉課

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
TEL : 03-3942-6487 (直通) FAX : 03-3942-6503
受付時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 (平日)
E-mail : nenkin@po.med.or.jp



20260401\$25

**令和8年5月12日(火) 第2回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 業務委託について**

①令和8年度県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について

→各県立学校の1年生（県立中等教育学校は1年生と4年生）を対象とした心臓検診業務で、生徒1人当たり2,750円（税込）の検査料で委託契約を締結することが承認された。

②令和8年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断の委託契約について

→学校健診の問診等で、学校医が結核健診の実施が必要と認めた場合に実施される検査業務で、委託契約を締結することが承認された。

③令和8年度症例研究会開催事業の委託契約について

→小児科専門研修医の資質向上と小児医療の充実を図ることを目的に、県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会等を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

④令和8年度医療従事者確保のための救急医療利用適正化推進事業（小児救急医療）の委託契約について

→小児救急医療の適正利用に係る啓発や小児救急電話相談の利用を促進するための事業で、契約を締結することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①11/15(日)（県体育館）ALS難病チャリティミニバレー大会開催に伴う後援のお願いについて

→ALS患者への支援および本疾患に対する社会的な認知度向上を目的として開催されるチャリティミニバレー大会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 令和8年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰候補者の推薦について

学校保健等の普及と充実に功績があった方を対象に行われる表彰で、各郡市医師会から推薦された中から、2名を推薦することが承認された。

4. 第163回日本医師会臨時代議員会における九州ブロック代表質問について

日医への質問について、出席する日医代議員で検討し提出することが承認された。

5. 6/7(日)（東京）「選挙対策本部事務所開き」の開催について

河野会長が出席することが承認された。

6. 5/21(木)（県防災庁舎）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会いについて

4医療機関を対象に行われる新規個別指導および個別指導で、田畑理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 5/28(木) (県防災庁舎) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会いについて

2 医療機関を対象に行われる新規個別指導および個別指導で、高木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

8. 7/17(金)都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会の開催について

都道府県医師会における活動事例を共有すること等を通じて、各地域での具体的な取り組みを後押しする契機とすることを目的に開催される役職員連絡協議会で、大塚常任理事と事務局が出席することが承認された。

9. 日本医師会裁定委員の推薦について

池井常任理事を推薦することが承認された。

10. 5/19(火)第183回宮崎県医師会臨時代議員会について

主に役員等選挙を行う代議員会であり、12日(火)17時締切の立候補届の結果を報告し、当日の進行及び役割の確認等を行った。

(報告事項)

1. 4月末日現在の会員数について

2. 5/8(金) (県医) 日医財務委員会について

3. 4/30(木) (県医) 病院部会・医療法人部会合同理事会について

4. 5/11(月) (県医) 産業医部会理事会について

令和8年5月19日(火) 第1回理事会

医師会関係

(議決事項)

議案第1号

第183回臨時代議員会に関する件（議事進行及び次期理事の数について）

市来常任理事から、この後開催される第

183回臨時代議員会の議事進行及び役員選挙等について説明が行われた。その後、定款施行細則第11条第3項の規定により、役員選挙で選出されるべき次期理事の定数を、業務量等も勘案して今期と同様23名（会長1名、副会長2名を含む）として臨時代議員会に上程する案が示され、審議の結果、出席者全員（23名）の賛成をもって承認された。

令和8年5月19日(火) 第3回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①県福祉サービス運営適正化委員会委員の任期満了に伴う委員候補者の推薦について
→福祉サービス利用援助事業の運営監視と、利用者からの苦情解決を目的に設置される委員会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、吉見常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

①令和8年度女性医師等就労支援事業の委託契約について
→女性医師等が仕事と家庭の両立を図り、医師として働き続けられる環境作りを支援することにより本県の医師確保を図る事業で、契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①8/2(日) (宮観ホテル) 第48回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会における名義使用申請について
→包括的性教育の重要性を踏まえ、性の健康・人権・多様性について多角的に理解を深めることを目的に開催される

セミナーで、名義後援を行うことが承認された。

- ②みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト2026の名義後援について
→県民に“いのちのリレー”について考えていただく機会にすることを目的に開催されるポスターコンテストで、名義後援を行うことが承認された。

4. 令和9年春の叙勲候補者の推薦について

学校医歴が40年以上、かつ年齢が70歳以上の方を推薦基準とする表彰で、各郡市医師会に照会の結果、2名を推薦することが承認された。

5. 令和8年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献してきた医師等に対する表彰で、1名を推薦することが承認された。

6. 令和8年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた産科医・団体等に対する表彰で、1名を推薦することが承認された。

7. 6/11(木)(九州厚生局宮崎事務所)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会いについて

4医療機関を対象に行われる新規個別指導と個別指導で、玉置常任理事を立会人として派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 5/13(水)(支払基金)支払基金審査運営協議会について
2. 5/18(月)(県防災庁舎)県医療審議会医療計画等部会について
3. 5/14(木)(県医)広報委員会について

4. 5/18(月)(県医)在宅医療研修会企画小委員会について

5. 4/22(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会・労災部会理事会について

6. 5/16(土)(県医)産業医部会総会・研修会について

令和8年5月26日(火)第4回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

疾病による日医及び県医会費減免1名の継続申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①県移植推進財団役員への御就任について
→任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長を評議員として推薦することが承認された。

②県社会福祉審議会委員の推薦について
→社会福祉に関する事項を調査審議する審議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き小牧副会長を推薦することが承認された。

③県社会福祉審議会臨時委員の推薦について
→身体障害者福祉専門分科会・審査部会9名及び児童福祉専門分科会・検証部会1名の臨時委員の推薦依頼で、再任の方向で現職の意向を確認し、辞任の意向があった場合は専門分科医会に推薦を依頼することが承認された。

3. 業務委託について

①令和8年度梅毒・HIV無料匿名検査事業の委託契約について
→無料匿名の梅毒・HIV検査事業で、県と委託契約を締結することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①9/18(金)・19(土) (宮崎市) 地域貢献等研究推進事業「看護師に向けた性的マイノリティへの受療行動支援事業」における県民公開講座への名義後援について
→県内の看護師の性的マイノリティに関する基礎知識の向上および、当事者の受療行動等の思いや配慮の必要性について知る機会とすることを目的とした県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②11/29(日) (宮観ホテル) 日本整形外科学会100年記念全国市民公開講座における名義後援申請について
→運動器の仕組みや障害、予防法について市民の理解を深めることを目的に開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

5. 7/11(土) (鹿児島) 九州医師会連合会第429回常任委員会の開催について

河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

6. 6/12(金) (県医) 都道府県医師会地域医療構想策定ガイドライン等説明会の開催について

ガイドラインの内容について相互理解を深め、各構想区域における検討・協議に万全を期すために開催される説明会で、金丸副会長・玉置常任理事が出席することが承認された。

7. 6・7月の行事予定について

(報告事項)

- 5/23(土) (福岡) 九医連常任委員・次期会長合同会議について
- 5/23(土) (福岡) 九医連常任委員・次期日医代議員協議会について
- 5/23(土) (福岡) 九州ブロック日医代議員(含・次期) 連絡会議について
- 5/20(水) (県医) 広報委員会について
- 5/21(木) (県医) 県医監事監査について
- 5/21(木) 日医医療安全対策委員会について
- 5/22(金) (県医) 全国医師会産業医部会連絡協議会について
- 5/21(木) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について
- 5/26(火) (県防災庁舎) 県保険者協議会について
- 5/20(水) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
- 5/21(木) (県医) 県認知症疾患医療センター合同会議について
- 5/20(水) (県防災庁舎) 大規模地震時医療活動訓練に係る第1回調整会議について
- 5/21(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導について
医師連盟関係

(議決事項)

- 7/11(土) (鹿児島) 九州医連連絡会第37回常任執行委員会の開催について
河野委員長が出席することと、協議事項があれば事務局へ申し出ることが承認された。

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	e	d	a	b, c	c	b	a, b	a, e	e

県 医 の 動 き

(6月)

1	県糖尿病対策推進会議小幹事会(玉置常任理事)
2	県学校保健会理事・評議員会(会長他) 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育庁表彰審査会(会長) 第2回理事会(会長他) 第5回全理事協議会(会長他)
3	日医救急災害医療対策委員会(Web会議)(落合常任理事)
4	学校医部会理事・評議員会(Web会議)(会長他)
5	認知症サポート医・かかりつけスキルアップ研修会(吉見常任理事)
6	(大阪)近畿医療協同組合連合会創立60周年記念式典(赤須専務理事)
7	(東京)松本吉郎日本医師会会長選挙対策本部事務所開き(会長)
9	県健康づくり協会理事会(金丸副会長) 全国有床診療所協議会と日本医師会との懇談会(Web会議)(会長) 厚労省主催 地域フォーミュラの都道府県医師会向け説明会(Web会議)(嶋本常任理事他)
11	社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導(玉置常任理事) (広島)全国国保組合協会通常総会 日医医療安全対策委員会(Web会議)(市来常任理事) 勤務医部会会計監査 県アイバンク協会理事会(会長) 県産婦人科医会常任理事会(嶋本常任理事他)
12	都道府県医師会地域医療構想策定ガイドライン等説明会(Web会議)(金丸副会長他) 県移植推進財団評議員会(会長) 宮大医学部生対象マッチング登録説明会&県内基幹型臨床研修病院合同説明会(大塚常任理事)
15	広報委員会(高木常任理事他)
16	第3回常任理事協議会(会長他) 県医師会母体保護法指定医師審査委員会(小牧副会長他)
17	宮大経営協議会及び学長選考・監察会議(会長) 全国有床診療所協議会理事会(Web会議)(会長)
18	県内科医会医療保険委員会(玉置常任理事)

20	医師協通常総代会(河野理事長他) 医師協理事会(理事長他) 県医定例代議員会(会長他) 第3回理事会(会長他) 県医臨時代議員会(会長他) 県医連執行委員会(委員長他)
21	(東京)レジナビフェア東京
22	地域医療現場における働きやすい環境を考える会(Web会議) 広報委員会(荒木常任理事他)
23	県社会福祉協議会評議員会(金丸副会長) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会(大塚常任理事) 臨床検査精度管理調査実行委員会(Web会議) 西都児湯地域医療構想調整会議(金丸副会長他)
24	県がん診療連携協議会(Web会議)(金丸副会長) 労災診療指導委員会・労災部会理事会(赤須常任理事他) 宮崎市郡医師会定時総会(会長)
25	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(嶋本常任理事) 厚労省主催 地域フォーミュラの都道府県医師会向け説明会(Web会議)(金丸副会長他) 医師国保組合定例事務監査(秦理事長他) 県内科医会理事会(玉置常任理事他) 県整形外科医会理事会(Web会議)
26	宮大医学部地域枠全体ミーティング(大塚常任理事) (東京)九プロ(次期)日医代議員連絡会議(会長他) 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会実行委員会(Web会議)(上山理事)
27	(日医)九プロ日医代議員連絡会議(会長他) (日医)日医定例代議員会(会長他) 県専門研修プログラム合同説明会(大塚常任理事)
28	(日医)九プロ日医代議員連絡会議(小牧副会長他) (日医)日医臨時代議員会(小牧副会長他)
29	みやざきスポーツメディカル体制構築事業第1回アドミニストレーター会議(大塚常任理事) 在宅医療協議会役員会(Web会議)(吉見常任理事)
30	県歯科保健推進協議会(吉見常任理事) 県健康づくり協会評議員会(玉置常任理事) 医師協理事会(理事長他) 医師協理事・運営委員合同協議会(理事長他) 第6回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会(会長他)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和8年6月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 18人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	5	1	4
外 科	1	1	0
整 形 外 科	1	1	0
精 神 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	1	0	1
眼 科	1	0	1
消 化 器 内 科	2	0	2
放 射 線 科	1	0	1
神 経 内 科	1	0	1
総 合 診 療 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 110人

	合 計
令和8年度(4/1～6/1)	0
平成16年度から累計	110

3. 求人登録 98件 286人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	81	56	25
外 科	18	16	2
整 形 外 科	23	20	3
精 神 科	9	8	1
脳 神 経 外 科	2	2	0
循 環 器 科	14	11	3
消 化 器 内 科	24	18	6
麻 酔 科	6	5	1
眼 科	9	6	3
放 射 線 科	8	8	0
小 児 科	4	3	1
呼 吸 器 科	0	0	0
在 宅 診 療	4	3	1
総合診療科・内科	12	9	3
脳 神 経 内 科	4	3	1
呼 吸 器 内 科	9	8	1
リハビリテーション科	5	3	2
救 命 救 急 科	10	6	4

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
消 化 器 外 科	7	4	3
乳 腺 外 科	2	2	0
健 診	2	2	0
泌 尿 器 科	4	3	1
産 婦 人 科	0	0	0
検 診	0	0	0
皮 膚 科	0	0	0
婦 人 科	0	0	0
呼 吸 器 外 科	0	0	0
人 工 透 析	13	10	3
リウマチ科	2	1	1
臨床病理科	0	0	0
形 成 外 科	0	0	0
診療科目不問	8	4	4
緩和ケア	2	2	0
内分泌糖尿病内科	3	3	0
そ の 他	1	1	0
合 計	286	217	69

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	外,整,総診	3	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	11	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内	1	非常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診,麻	15	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション 振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外	4	常勤・非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック[un]	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精,内	3	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
230247	滝口内科	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230250	医)恒友会 ひろせみらいクリニック	宮崎市	内,透,泌 (いずれか)	2	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル 藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内, 泌, 腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整, 内, 放	4	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内, 循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内, 消内, 消外, 放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内, 小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精, 内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌, 透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内, 外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内, 整, リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内, 外	2	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内, 整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内, 整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	内, 透 (いずれか)	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
230249	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内, 循内	2	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内, 外, 麻, 健診	4	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診, 救急, 呼内, 循内, 神内, 整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内, 腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内, 外, 整, 総診, 透, 循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内, リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精, 内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内, 外, 整, 在宅, 眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内, 外, 総診, 消内, 腎内, 呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内, 整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内, 外, 放	4	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内, 内, 外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放, 内, 総診, 麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外, 内, 総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	腎内, 泌, 内	2	常勤・非常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整, 内, 循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内, 眼, 小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内, 外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和8年6月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者: 西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者: (医) 社団 隆豊 江崎医院跡
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり (16台) 所有者: 日向市東臼杵郡医師会員 吉田クリニック
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり (15台) 所有者: 延岡市医師会員 (医) 社団 戸島クリニック
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり (6台) 別途, 賃貸の駐車場 (22台) 所有者: 宮崎市郡医師会員 (医) 青翠会 山本医院
2. 賃貸物件又は	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台) 所有者: 宮崎市郡医師会員 滝口内科 (旧) のぞみ医院跡
	② 宮崎市大字本郷南方2456番地1 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり (20台) 所有者: 宮崎市郡医師会員 平部整形外科医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年6月30日

7			月		
1	水	14:30 (門川町) ロコモ予防運動推進事業養成講座 18:00 厚労省主催地域フォーミュラリの都道府県医師会向け説明会 (Web会議) 19:00 組織強化・将来構想委員会小委員会 (Web会議)	16	木	9:40 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 (高千穂町) ロコモ予防運動推進事業養成講座 19:00 医師国保組合通常組合会 (Web会議) 終了後 医師国保組合理事会
2	木	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 19:00 医師国保組合理事会 19:00 (都城市) 都城北諸県地域医療構想調整会議 19:00 (日南市) 日南串間地域医療構想調整会議	17	金	13:30 都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会 (Web会議) 16:30 (沖縄) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議 18:00 県アドバンス・ケア・プランニング推進委員会
3	金	15:00 (小林市) 西諸地域医療構想調整会議 18:30 病院部会・医療法人部会定時総会	18	土	14:30 産業医研修会 (前期)
4	土	15:30 県外科医会全理事会 (Web会議) 15:30 県整形外科医会評議員会 15:50 県整形外科医会総会 16:00 県外科医会総会 (Web会議) 16:10 県整形外科医会理事会 16:30 県労災部会総会 (Web会議) 17:00 県外科医会・県整形外科医会・県労災部会合同学会 (Web会議)	19	日	9:40 九州山口薬学大会
5	日	9:00 県災害医療コーディネート研修 11:00 (東京) 全国有床診療所協議会理事会・臨時社員総会 12:00 県産婦人科医会ひなたJ-CIMELS宮崎2026	20	月	(海の日)
6	月	13:30 県地方独立行政法人評価委員会 14:00 県精神科救急医療システム連絡調整委員会 19:00 園医部会理事会 (Web会議)	21	火	18:00 医師協理事会 18:30 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第8回全理事協議会 19:00 役職員懇談会
7	火	19:00 第4回常任理事協議会	22	水	11:00 大規模地震時医療活動訓練県訓練調整会議 (親会) 13:00 大規模地震時医療活動訓練調整会議 14:00 宮崎東諸県地域医療構想調整会議
8	水	9:20 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 (日向市) 日向入郷地域医療構想調整会議	23	木	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 19:00 広報委員会 19:00 県糖尿病対策推進会議幹事会 (Web会議)
9	木	13:00 社会保険医療担当者の新規個別指導及び個別指導 19:00 県産婦人科医会常任理事会 19:00 (延岡市) 延岡西臼杵地域医療構想調整会議	24	金	
10	金		25	土	県小児科医会子ども健康セミナー (Web会議) 14:00 (福岡) 九州地区医師国保組合連合会合併プロジェクト会議
11	土	17:00 (鹿児島) 九医連常任委員会 17:30 (鹿児島) 九州医連連絡会常任執行委員会	26	日	
12	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	27	月	11:00 国保連合会理事会・通常総会 (Web会議)
13	月	19:00 勤務医部会理事会 (Web会議)	28	火	15:10 (日医) 日医連執行委員会 17:00 (東京) 日医役員就任披露パーティ 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
14	火	19:00 第7回全理事協議会 (Web会議)	29	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会 18:00 県医療審議会医療計画等部会
15	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会	30	木	
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	金	13:30 (東京) 全国医師国保組合連合会代表者会 18:30 勤務医部会総会・前期講演会 (Web会議)

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年6月30日

8				月			
1	土	14：20	日産婦医会性教育指導セミナー全国大会	18	火	19：00	第9回全理事協議会（Web会議）
		15：00	（鹿児島）九州学校検診協議会専門委員会	19	水	16：00	支払基金審査運営協議会
		16：00	（鹿児島）九医連常任委員会	20	木	19：00	県産婦人科医会全理事会（Web会議）
		17：00	（鹿児島）九州学校検診協議会役員会				
		18：00	（鹿児島）九州各県医師会学校保健担当理事者会	21	金		
2	日		（鹿児島）九医連学校医会評議員会	22	土		（鹿児島）九医連常任委員会 （鹿児島）九医連定例委員総会 （鹿児島）九州医連連絡会執行委員会
		8：30	日産婦医会性教育指導セミナー全国大会			9：00	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会
3	月	13：30	県地方独立行政法人評価委員会	23	日	9：00	中四九地区医師会看護学校協議会（Web会議）
		13：30	第32回全国医師会共同利用施設総会の予算打合せおよび会場視察				
		18：00	県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会（Web会議）				
4	火	19：00	第5回常任理事協議会	24	月	17：00	県地域医療対策協議会プログラム運用部会
5	水					18：00	県地域医療対策協議会
6	木			25	火	14：30	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会
7	金	18：30	県外科医会夏期講演会（Web会議）			18：00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
8	土					18：30	医師協理事会
9	日					19：00	医師協理事・運営委員合同協議会
10	月					終了後	第10回全理事協議会
11	火		（山の日）	26	水	15：00	労災診療指導委員会・労災部会理事会
12	水			27	木		
13	木			28	金	13：30	宮大学長選考・監察会議
14	金					18：45	学校医部会総会・医学会（Web会議）
15	土			29	土		保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会
16	日					14：30	産業医研修会（前期）
17	月					15：00	（長崎）九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議会
				30	日	9：00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
				31	月		

国保審査
社保審査
国保審査

医家芸術展

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

作品
募集中

生命

いのち

第10回

を見つめる
フォト&エッセー生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

応募締め切り

2026年
10月2日(金)
必着

フォト部門

生命の尊さを感じさせる、
あるいは生命の輝く瞬間を
とらえた作品を募集します。最高
賞金 10 万円

審査員 (順不同、敬称略)

熊切大輔
日本写真家協会会長岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwano 他

エッセー部門

医師や看護師との交流、ご
家族の介護や生命の誕生に
まつわる話などを募集します。最高
賞金 30 万円

審査員 (順不同、敬称略)

養老孟司
東京大学名誉教授
/ 解剖学者玄侑宗久
作家 / 福原寺住職水野真紀
俳優 他公式ホームページ <https://jigyou.yomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索



主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2023年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。

- | | | |
|------------------|----|----------|
| 厚生労働大臣賞(1点)..... | 賞金 | 10万円・賞状他 |
| 日本医師会賞(1点)..... | 賞金 | 10万円・賞状他 |
| 読売新聞社賞(1点)..... | 賞金 | 10万円・賞状他 |
| 東京海上日動賞(1点)..... | 賞金 | 10万円・賞状他 |
| 審査員特別賞(数点)..... | 賞金 | 5万円・賞状他 |

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 3万円分・賞状他
審査員特別賞(数点)……………QUOカード 5千円分・賞状他



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」などでも可)。

また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしております。

ようがくせい ぶ ひび せいかつ なか いち たいせつ かん できごと
 小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事
 などをお送りください(手紙形式も可)。

- 応募作品は、2000字(原稿用紙1～5枚)以内とします。
■ 応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。

- | | | |
|----------------------|----|---------|
| 厚生労働大臣賞(1点)..... | 賞金 | 30万円・賞状 |
| 日本医師会賞(1点)..... | 賞金 | 30万円・賞状 |
| 読売新聞社賞(1点)..... | 賞金 | 30万円・賞状 |
| 東京海上日動あんしん生命賞(1点)... | 賞金 | 30万円・賞状 |
| 審査員特別賞(数点)..... | 賞金 | 10万円・賞状 |

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 3万円分・賞状他
審査員特別賞(数点)……………QUOカード 5千円分・賞状他

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 1万円分・賞状他
審査員特別賞(数点)……………QUOカード 5千円分・賞状他

- 文部科学大臣賞(1点)……………QUOカード 5千円分・賞状他
審査員特別賞(数点)……………QUOカード 3千円分・賞状他

- 応募作品は自作・フットボールは応募者本人が撮影した未発表の作品に限ります。
※ 盗作・二重応募・類似・事実上同一制作作品の応募は固くお断りいたします。
- 応募作品の選別に際し、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 応募作品は返送いたしません。
- 入賞作品の発表は、2027年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトにて、作品と実名・年齢・顔写真・学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は、2027年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。※ 応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

お問い合わせ

- からの応募も可能です。詳細は公式ホームページ
<https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
 一部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)・ボールペン・万年筆のいずれかを
 濃く書いてください。
 の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、
 てください。



公式ホームページQRコード

読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つけるフォト&エッセー」事務局
TEL: 03-3216-8598 (平日10:00~17:00)

作品送付先:〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募用紙

応募用紙		応募部門		フォト部門 一般の部		フォト部門 小中高生の部		エッセー部門 一般の部		エッセー部門 中高生の部		エッセー部門 小学生高学年の部 (4～6年生)		エッセー部門 小学生低学年の部 (1～3年生)	
題名								氏名							
住所								年齢							
都 道 府 県								西暦 年 月 日 生							
Mail								Tel							
職業(学校名)															
フォト部門のみ				撮影年月日				撮影場所				撮影機材			
202				年 月 日											
確認の上 チェックを 入れてくだ さい				☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません ☐ この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません ☐ 入賞作品は、主催者・協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名・年齢・作品・顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します ☐ (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません											
応募の きっかけ				[1]チラシ(どこで：) [2]学校(小・中・高・大・専門) [3]読売新聞紙面 [4]公式ホームページ [5]日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE 公式アカウント) [6]公募サイト(サイト名：) [7]その他(具体的に											

※氏名は実名のみの受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。

応募締め切り
2026年
10月2日(木)
必着

入賞作品についての著作権
両部門とも、入賞作品について、
読売新聞紙上及びその他の広報物、展示に使用する権利は
主催者が有します。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

[現地]…現地参加のみ [現地・Web]…現地参加またはWeb聴講

[Web]…Web聴講のみ ※Webの場合，会場は記載いたしません。



詳細および最新情報はこちら

令和8年度結核予防技術者地区別講習会(九州地区)

(1日目)

7月2日(木) 10:20~20:30 [現地]

ニューウェルシティ宮崎

「改定予防指針に基づく結核対策の方向性(前編)」

公益財団法人結核予防会結核研究所

国際協力・結核国際情報センター長

大角 晃弘

「結核における患者中心の支援の基本と地域を基盤とした支援の強化

～増加する外国出生患者支援への取組み～」

公益財団法人結核予防会結核研究所

対策支援部 保健看護学科長

座間 智子

「肺・肺外結核の診断と治療のおさらいと最新情報」

公益財団法人結核予防会結核研究所

抗酸菌部 部長

御手洗 聡

主催：宮崎県

連絡先：宮崎県薬務感染症対策課

☎0985-44-2620

CC(単位)：8 (4.0)，12 (2.5)

令和8年度結核予防技術者地区別講習会(九州地区)

(2日目)

7月3日(金) 9:45~15:15 [現地]

ニューウェルシティ宮崎

「改定予防指針に基づく結核対策の方向性(後編)」

公益財団法人結核予防会結核研究所

国際協力・結核国際情報センター長

大角 晃弘

「最近の結核対策の動向を踏まえた今後について」

厚生労働省健康・生活衛生局 感染症対策課

課長補佐

渡邊 麻由

主催：宮崎県

連絡先：宮崎県薬務感染症対策課

☎0985-44-2620

CC(単位)：0 (1.0)，8 (2.0)

令和8年度心臓検診二次検討会(後期)

7月3日(金) 19:00~21:00 [現地]

日向市東白杵郡医師会館

「症例検討会」

医療法人社団楠友会 なかむら内科循環器内科
院長

中村 剛之

主催：日向市東白杵郡医師会心臓検診班

後援：日向市東白杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東白杵郡医師会内科医会

CC(単位)：44 (2.0)

第22回九州臨床糖尿病医会WEBセミナー

7月4日(土) 16:00~18:00 [Web]

「DKD診療を変えるLong term eGFR plot(LTEP)

～長期腎機能推移を踏まえた実践的アプローチ～」

市立大津病院 内科診療部長(腎臓内科部門)

兼 血液浄化部 診療部長

中澤 純

「膵β細胞の機能と維持調節機序の新たな理解」

大阪大学大学院 理学部 特任教授 中里 雅光

主催：九州臨床糖尿病医会

共催：住友ファーマ(株) ☎080-1489-5688

CC(単位)：0 (1.0)，76 (0.5)

令和8年度宮崎県外科医会・宮崎県整形外科医会・宮崎県医師会労災部会合同学会

7月4日(土) 17:00~18:00 [現地・Web]

宮崎県医師会館

「うつ病とは～心の痛みと身体の痛み～」

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座

精神医学分野 教授 平野 羊嗣

主催：宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118

共催：宮崎県外科医会，宮崎県整形外科医会

CC(単位)：70 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

7月8日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「早期離職を防ぐ新人研修担当者・中間管理職に対する研修のポイント」

産業保健相談員

産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：10 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

認知症治療に携わる医療従事者のための在宅医療Web Seminar

7月9日(木) 19:00~20:10 [Web]

「精神科医の目線から見た認知症周辺症状の現状と対応」

(一財)弘潤会 野崎病院 倉増 亜紀

「内科医の目線で考えるBPSDに対応する薬物治療」

田口同仁クリニック 院長 田口 雅一

主催：宮崎市郡在宅医会

共催：大塚製薬(株) ☎080-6717-1304

CC(単位)：29 (1.0)

**かかりつけ医のための予防接種セミナー
～HPV関連疾患予防に向けた知見と戦略～**

7月9日(木) 19:00~20:00 [Web]

「宮崎市における男子HPVワクチン公費助成後**の経過と接種率について」**

さとう小児科 院長 佐藤 潤一郎

「HPVワクチン 出張・集団接種の取り組みについて」

田川小児科 院長 田川 正人

主催：宮崎県小児科医会

共催：MSD(株) ☎0985-28-9496

CC(単位)：11 (1.0)

延岡医学会学術講演会

7月10日(金) 19:00~20:10 [現地・Web]

キャトルセゾンマツイ

**「心腎保護を考慮した心不全治療戦略
～MR過剰活性化抑制の重要性～」**

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野 教授

海北 幸一，他

他演題あり

主催：延岡医学会

共催：バイエル薬品(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：24 (1.0)

第38回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー

7月11日(土) 15:30~17:30 [現地・Web]

KITENビル

**「腰椎椎間板ヘルニアに関するエビデンスとその伝え方
～Miro-Hers試験が示した結果と臨床的意義～」**

大阪公立大学医学部附属病院 総合診療科

整形外科 准教授 豊田 宏光

「側弯・腰曲がりと神経障害性疼痛の診断と治療」

杏林大学医学部 整形外科学教室 教授

細金 直文

主催：ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー

共催：第一三共(株) ☎070-1377-6776

CC(単位)：60 (1.0)，62 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

7月15日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「労災保険制度の概要と業務上疾病の認定基準について」

宮崎労働局 労災補償課長 若本 正宏
主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

いろはに漢方

7月15日(水) 19:00~20:00 [Web]

「怪病は痰を疑え

暑気あたりと夏ばても漢方で治療してみましょう

夏ばては秋の季語って、ご存じですか

暑中見舞いは暑い中のお見舞いではないです」

ちぐさ東洋クリニック 院長 川越 宏文

主催：宮崎県医師会東洋医会

共催：クラシエ薬品(株) ☎092-291-8131

CC(単位)：83 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

7月16日(木) 19:00~21:00 [現地]

延岡市医師会病院

「労働衛生関係法令」

宮崎産業保健総合支援センター 副所長

地福 竹志

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

南那珂医師会生涯教育医学会

7月17日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

南那珂医師会館

「プライマリケア医のための間質性肺炎診療のポイント」

県立日南病院 内科医長 土田 真平

主催：南那珂医師会 ☎0987-23-3411

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

CC(単位)：45 (1.0)

延岡医学会学術講演会(第6回県北腫瘍循環器講演会)

7月17日(金) 19:00~20:20 [現地・Web]

エンシティホテル延岡

「心エコーで見る心臓腫瘍あれこれ」

宮崎大学医学部 機能制御学講座

循環動態生理学分野 教授

渡邊 望

主催：延岡医学会

共催：ノバルティスファーマ(株)

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：43 (1.0)

第98回宮崎大学眼科研究会

7月18日(土) 16:10~19:00 [現地]

エアラインホテル

「宮崎大学医学部附属病院 眼科専門外来の症例から」

宮崎大学医学部 眼科 助教

林田 陽, 他

「眼部腫瘍性疾患の診断・治療」

奈良県立医科大学 眼科 教授

加瀬 諭

主催：宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野

☎0985-85-2806

CC(単位)：36 (2.0)

参加費：2,000円

宮崎県内科医会学術講演会

7月21日(火) 19:00~20:00 [現地・Web]

大塚製薬宮崎出張所

「訪問診療におけるBPSD治療の取り組み」

医療法人社団 日翔会くれはクリニック 院長

蝶野 晃弘

主催：宮崎県内科医会

共催：大塚製薬(株) ☎090-6717-1304

CC(単位)：29 (1.0)

宮崎県産婦人科手術学会ハンズオンセミナー連携企画
宮崎市郡医師会 産婦人科医会 帝王切開術 術後創
管理学術Webinar

7月21日(火) 19:00~20:00 [Web]

「OGOGが実践するシン・術後創部管理

～解決いたします!!帝王切開術 術後創トラブル～

県立宮崎病院 産婦人科 医長 細川 義彦

主催：宮崎市郡産婦人科医会

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン・メドテック

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：0 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

7月22日(水) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度」

産業保健相談員 精神科専門医・指導医

直野 慶子

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月22日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」

産業保健相談員 労働衛生コンサルタント

田中 伸明

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月22日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「早期離職を防ぎ新人が輝く新規入職者に対する

研修のポイント」

産業保健相談員

産業医

江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：10 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

第207回宮崎心臓病研究会

7月22日(水) 19:00~20:00 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「弁膜症治療における術後管理

～抗血小板治療と消化管障害も含めて～

小倉記念病院 循環器内科 主任部長

白井 伸一

主催：宮崎心臓病研究会

共催：大塚製薬㈱

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位)：73 (1.0)

日向市東臼杵郡医師会学術講演会

7月24日(金) 19:00~20:15 [現地]

ホテルベルフォート日向

「CKD診療における早期診断・早期治療の重要性

～エンパグリフロジンの新規エビデンス～

香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学

講師

祖父江 理

主催：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東臼杵郡医師会内科医会

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム㈱

後援：日向市東臼杵郡薬剤師会

CC(単位)：12 (1.0)

令和8年度第1回宮崎県緩和ケア研修会

7月26日(日) 9:00~17:30 [現地]

宮崎大学医学部プレゼンテーションホール

「e-learningの復習・質問」

宮崎大学医学部附属病院 精神科 医師

船橋 英樹, 他

「コミュニケーション」

宮崎医療センター病院 泌尿器科・緩和ケア
医師 山崎 浩司, 他
「全人的苦痛に対する緩和ケア」
宮崎医療センター病院 消化器内科 医師
矢田 崇純, 他

「療養場所の選択と地域連携」

和田病院 緩和ケア内科 医師 丸田 望, 他
主催：宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1510
CC (単位)：4 (1.5), 10 (1.5), 13 (1.5), 15 (0.5)

宮崎県医師会産業医研修会

7月29日(水) 14:00～16:00 [現地]
宮崎県医師会館

「職場でみられるうつ病とその対応」

産業保健相談員 精神科専門医・指導医
直野 慶子
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC (単位)：70 (2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

7月29日(水) 19:00～21:00 [現地]
宮崎県医師会館

「事業場のゲートキーパー活動を支援するために」

産業保健相談員 人財科学研究所 代表
工藤 智徳
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511
共催：宮崎県医師会
CC (単位)：11 (2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

令和8年度宮崎県医師会勤務医部会総会・前期講演会

7月31日(金) 18:30～20:40 [現地・Web]
宮崎県医師会館

「腰痛診療アップデート」

宮崎大学医学部 感覚運動医学講座
整形外科科学分野 教授 亀井 直輔

「いちごが目指すサステナブルインフラ

～テゲバジャーロ宮崎からの挑戦～」

いちご(株) 執行役副社長 兼 COO
(株)テゲバジャーロ宮崎 代表取締役 会長 他
石原 実

主催：宮崎県医師会勤務医部会
連絡先：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
CC (単位)：0 (0.5), 60 (0.5)

宮崎県医師会産業医研修会

7月31日(金) 19:00～21:00 [現地]
都城市北諸県郡医師会館

「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」

産業保健相談員 労働衛生コンサルタント
田中 伸明
主催：宮崎産業保健総合支援センター
☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会
CC (単位)：6 (2.0)
生涯研修の専門研修会：2単位

延岡医学会学術講演会～県北の脳卒中を考える～

7月31日(金) 19:00～20:30 [現地・Web]
キャトルセゾンマツイ

「脳梗塞の最前線と宮崎県北の脳梗塞診療体制：
立ち上げ1年の成績」

県立延岡病院 脳神経外科 副院長 徳田 高穂
「宮崎県における脳卒中対策～現状と今後の展望～」
都城市郡医師会病院 脳神経外科 部長
宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター
副センター長 大田 元
主催：延岡医学会
共催：第一三共(株)
連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300
CC (単位)：10 (0.5), 78 (0.5)

宮崎県医師会産業医研修会

8月5日(水) 19:00~21:00 [現地]

延岡市医師会病院

「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」

産業保健相談員 労働衛生コンサルタント

田中 伸明

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月6日(木) 19:00~21:00 [現地]

都城市北諸県郡医師会館

「自律的な化学物質管理とCREATE-SIMPLEを用いたリスクアセスメント」

産業保健相談員

なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長

中甫木 直樹

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の実地研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月12日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「第14次労働災害防止計画の概要と重要ポイント」

産業保健相談員

産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月19日(水) 19:00~21:00 [現地]

延岡市医師会病院

「事業場のゲートキーパー活動を支援するために」

産業保健相談員 人財科学研究所 代表

工藤 智徳

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

延岡医学会学術講演会

8月21日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

キャトルセゾンマツイ

「静かに心腎を蝕む高尿酸血症

～その背景に潜むリスクと介入の意義～」

名古屋市立大学医学研究所 循環器内科学

主任教授

瀬尾 由広

主催：延岡医学会

共催：持田製薬㈱

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：82 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

8月26日(水) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「職場でのアルコール依存症に対する対策」

産業保健相談員 精神科専門医・指導医

直野 慶子

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月26日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「今日のうつ病の現状と対策」

産業保健相談員 中村クリニック 院長

中村 究

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：70 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

8月26日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「第14次労働災害防止計画の概要と重要ポイント」

産業保健相談員

産業医

江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6 (2.0)

生涯研修の更新研修会：2単位

令和8年度第2回宮崎県立延岡病院緩和ケア研修会

8月29日(土) 9:30~17:30 [現地]

県立延岡病院

「e-learningの復習・質問」

県立延岡病院 医師

能勢 直弘, 他

「コミュニケーション」

医療法人清芳会 井上病院 医師

並木 薫

「全人的苦痛に対する緩和ケア」

宮崎医療センター病院 医師

山崎 浩司, 他

「療養場所の選択と地域連携」

医療法人誠和会 和田病院 医師

丸田 望

主催：県立延岡病院 ☎0982-32-6774

CC(単位)：4 (1.5), 5 (0.5), 53 (1.5), 81 (1.5)

第37回宮崎県糖尿病教育セミナー

9月6日(日) 9:55~16:45 [現地]

南九州大学 都城キャンパス

「糖尿病UP DATE 腎臓を守るためにできること」

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野 助教

皆川 明大

「スティグマをなくすために医療従事者がするべ

きこと」

医療法人魁成会 宮永病院糖尿病センター 医師

中村 孝之

「外食・中食の支援～選び方を支える栄養指導～」

医療法人魁成会 宮永病院 管理栄養士

永山 美里

「調剤薬局における腎機能評価と治療支援」

総合メディカル(株) そうごう薬局

三股仲町店 薬剤師

福山 陽子

「糖尿病性腎症とともに歩む人をケアする」

医療法人社団紘和会 平和台病院 看護師

脇坂 幸江

「糖尿病合併症に対する運動療法

～糖尿病性腎症中心に～」

都城市郡医師会病院 理学療法士

土屋 美香子

「歯周病を一から考える

～口から始まる糖尿病管理～」

医療法人永仁会 永井歯科医院 院長

永井 省二

「糖尿病性腎症の食事療法

～低タンパク、高脂肪食に対する患者の戸惑い～」

医療法人弘征会 西浦病院 管理栄養士

稲次 里美

主催：宮崎県糖尿病懇話会 ☎0985-22-8015

共催：宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構

(株)三和化学研究所

後援：宮崎県医師会，都城市北諸県郡医師会

宮崎県薬剤師会，宮崎県病院薬剤師会

宮崎県歯科医師会，宮崎県看護協会

宮崎県栄養士会，宮崎県臨床検査技師会

CC(単位)：4 (1.0)，19 (0.5)，73 (1.0)，

76 (2.0)，82 (0.5)

参加費：3,000円

宮崎県医師会産業医研修会

9月9日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援」

産業保健相談員

産業医

江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会

9月14日(月) 19:00~20:00 [現地・Web]

西諸医師会館

「最新の糖尿病治療とトピック」

宮崎大学医学部 内科学講座

血液・糖尿病・内分泌内科学分野 講師

上野 浩晶

主催：西諸医師会 ☎0984-23-2113

共催：西諸内科医会, 住友ファーマ(株)

CC(単位)：76 (1.0)

宮崎県医師会産業医研修会

9月16日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「働く女性の健康問題を考えよう」

宮崎大学医学部大学院 看護学研究科 教授

金子 政時

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

9月25日(金) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

「有害化学物質の管理」

産業保健相談員

宮崎大学国際連携機構・国際連携センター 客員教授

黒田 嘉紀

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会産業医研修会

9月30日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援」

産業保健相談員

産業医

江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11 (2.0)

生涯研修の専門研修会：2単位

宮崎県医師会役員等名簿

任期：令和8年6月20日の定例代議員会終結後～令和10年6月の定例代議員会終結時まで
(議長・副議長の任期は、令和8年5月1日～令和10年4月30日)

役 職	氏 名	所属都市医師会	所 属	備考
会 長	河野 雅行	宮 崎	河野整形外科	
副 会 長	小牧 齋	宮 崎	こまき内科	
”	金丸 吉昌	宮 崎	けいめい記念病院	
常任理事	市来 能成	宮 崎	市来内科・外科医院	
”	高木 純一	宮 崎	たかぎ小児科・心臓小児科	
”	赤須郁太郎	延 岡	延岡共立病院	
”	大塚康二郎	西 都	大塚病院	
”	吉見 雅博	都 城	吉見病院	
”	玉置 昇	宮 崎	たまきクリニック	
”	落合 秀信	宮大医	宮崎大学医学部附属病院	
”	田畑 直人	宮 崎	宮崎医療センター病院	新
”	濱砂 カヨ	宮 崎	宮崎善仁会病院	新
理 事	峰松 俊夫	南那珂	愛泉会日南病院	
”	上山 貴子	宮 崎	うえやま貴子クリニック	
”	山中 聡	児 湯	川南病院	
”	河原 勝博	宮 崎	かわはら整形外科リハビリテーションクリニック	
”	松岡 敬子	日 向	松岡内科医院	
”	井尻 裕司	西 諸	井尻眼科医院	新
”	井上 雅文	宮 崎	井上病院	新
”	大友 直樹	宮 崎	宮崎県立宮崎病院	新
”	児玉 由紀	宮大医	宮崎大学医学部附属病院	新
”	中島 紫織	宮 崎	なかしま外科・内科	新
”	岡村 樹里	延 岡	岡村病院	新
監 事	中村 周治	宮 崎	平和台病院	
”	宮田 純一	延 岡	みやた内科医院	
”	檜原進一郎	都 城	ならはら皮膚科医院	新
議 長	田口 利文	都 城	田口循環器科・内科クリニック	新
副 議 長	北村 洋	児 湯	北村医院	新

診療メモ



高齢者の交通事故に潜む不整脈性意識障害 - “操作ミス” だけでは説明できない循環器学的視点 -

宮崎市 野村循環器内科クリニック の むら かつ まさ
野 村 勝 政

はじめに

近年、日本では高齢ドライバーによる交通事故が社会問題として大きく取り上げられています。報道ではアクセルとブレーキの踏み間違い・認知機能低下・加齢による判断力低下が主な原因として論じられることが多いのですが、循環器診療の現場では、事故の背景に一過性意識障害や失神発作、更には不整脈による脳低灌流状態が潜在している可能性を示唆する症例を少なからず経験します。

特に高齢者では、発作性不整脈による短時間の意識消失が、「眠ってしまった」「ぼーっとした」「気づいたらぶつかっていた」という曖昧な表現で語られることが多く、本人にも周囲にも“失神”として認識されない場合があります。その結果、循環器疾患が未診断のまま、重大事故や転倒事故へとつながる危険性が存在します。

実際、今年の初め、78歳の患者さんからこんな話を聞きました。「野村先生。この前、車を運転していたら、気が付いたらブロック塀にぶつかっていて、息子から“年寄りが車を運転しているからだ”と、こっぴどく叱られました」。

この話を聞いた瞬間に、不整脈発作の可能性を強く疑い、その後の精査で房室ブロックにともなう7秒間の心停止を認めたため、この患者さんは、ペースメーカー植え込みを施行しました。対応が遅れていた場合、自損事故だけではなく、死傷者を伴う重大事故になったのではないかとすると、こういった事例が身近に起こっ

ていることを、今回は皆さんに知っていただきたいと思います。

高齢者事故における“急病”という視点

警察庁や消防庁の報告では、交通事故原因として運転者の体調急変が一定数存在していることが示されています。特に高齢者では、脳血管障害・虚血性心疾患・不整脈など循環器疾患が背景にある症例が少なくありません。実際に、近年報道された高齢ドライバーによる重大事故の中には、ブレーキ痕がほとんど認められない・回避操作がみられない・信号待ち車列へ無減速で追突・突然対向車線へ進入・本人の事故時の記憶が曖昧といった特徴を有する事例が存在しています。

もちろん全例が不整脈によるものではありませんが、これらの所見は、循環器医の視点から見ると、一過性意識障害や瞬間的な意識レベル低下を強く疑わせる所見でもあります。

特に高齢者では、数秒間の意識消失であっても、運転中には致命的な結果につながります。一般に、時速40kmで走行中の車両は1秒間に約11m進むため、わずか数秒の脳低灌流でも、重大事故を引き起こす可能性が高いと言えます。

不整脈による意識障害

不整脈性失神は、脳血流低下により突然発症し、自然回復する特徴があります。特に以下の疾患は高齢者で頻度の高い不整脈です。

1 洞不全症候群

高齢化にともなう刺激伝導系の線維化により、洞停止や著明な徐脈を生じます。数秒以上の心停止では、失神や前失神症状を来します。

しかし高齢者では、「少し意識が遠のく」「急に力が抜ける」「ぼーっとする」「疲れやすい」程度の訴えしかない場合も多く、加齢変化として見過ごされやすいことがあります。

2 高度房室ブロック

発作性房室ブロックは、平常時心電図では正常であることも少なくなく、突然高度徐脈となり、数秒間の脳虚血を生じます。

特徴的なのは、前触れが乏しい・突然発症する・発作後は比較的速やかに回復するといった点で、事故時に本人が状況を説明できないこともあります。

3 心室頻拍・致死性不整脈

虚血性心疾患や心不全を背景とする高齢患者では、非持続性心室頻拍や心室細動前状態を来している場合があります。

短時間で自然停止した場合には、「気が遠くなった」「眠ってしまった」「意識が飛んだ」程度で済むこともあります。運転中であれば重大事故へ直結する可能性が高くなります。実際、車両損傷が軽微であるにもかかわらず運転手が死亡している事故では、不整脈の関与が疑われるケースもあります。

“認知症”と誤認される不整脈

高齢者医療において問題となるのは、不整脈性意識障害が認知機能低下として処理されてしまうことです。実際の外来診療では、「最近ぼーっとしている」「返事が遅い」「転倒が増えた」「物忘れが多い」といった訴えで受診し、精査の結果、高度徐脈や長時間心停止が判明する症例が存在します。特に転倒を繰り返す高齢者では、“失神”という認識が本人にも家族にもないことが多く、転倒後の頭部外傷のみが問題視され、原因検索が行われないケースも少な

くありません。しかし、ホルター心電図や植込み型ループレコーダーによって、数秒～十数秒の心停止が記録され、ペースメーカー植込み後に転倒や意識消失が消失する例は、循環器診療では決して珍しくありません。

実社会における問題点

現在の高齢者運転対策は、認知機能検査・運転技能評価・免許返納推進が中心となっています。しかし、循環器学的視点から見ると、これだけでは不十分である可能性があります。実際には、発作性徐脈・無症候性心房細動・発作性房室ブロック・一過性心室頻拍など、検査時には正常である疾患が多数存在します。つまり、普段は正常に見える高齢者が、突然発作を起こすという点が、不整脈の最も危険な特徴なのです。

今後の課題

今後、高齢化が更に進行する日本において、交通事故予防の観点からも循環器疾患スクリーニングの重要性は増していくと考えられます。特に、原因不明の転倒・数秒間の意識消失・前触れのない脱力・一過性の記憶消失・繰り返す失神前症状などの症状を認める高齢者では、不整脈検索を積極的に考慮すべきです。また、医療従事者だけでなく家族側も、年齢のせい、認知症だからと決めつけず、循環器疾患の可能性を認識していただきたいと思います。

おわりに

高齢者事故は、単純な“運転ミス”だけでは説明できない場合があります。その背景には、不整脈による一過性意識障害という、見逃されやすい循環器疾患が潜んでいる可能性があります。特に高齢者では、先述のような非特異的症状として現れるため、診断が遅れやすく、事故を起こしてから診断されるのでは遅い場合があります。高齢者の事故や転倒を目の前にしたとき、我々医療従事者は常に、「その背後に不整脈は存在しないか」という視点を持って診療にあたる必要があると思います。

宮大医学部学生のページ



部活動紹介～卓球部～

宮崎大学医学部 看護学科3年 ^か甲 ^い斐 ^{とも}朋 ^み美

こんにちは。宮崎大学医学部卓球部です。今回は、私たちが日々取り組んでいる卓球という競技の魅力と、私たちの部活動についてご紹介させていただきます。

卓球は、一見すると小さな台の上でピンポン球を交互に打ち合う、ラリーの応酬に見えるかもしれませんが、その本質は「チェスをしながら100メートル走をする」と言われるほど、非常に戦略的でハードなスポーツです。球のスピードに対応するだけでなく、ボールにかかる回転の種類（上回転、下回転、左右に曲がる横回転など）を瞬時に見極めなければなりません。自分で戦略を考えながらコート内で必死にボールを追いかけるため、試合を戦い抜くことは非常に体力が必要となります。シングルスでの個人の戦いはもちろんですが、ダブルスになると2人のコンビネーションや戦術の共有が極めて重要になります。卓球のダブルスは交互に打たなければならないというルールがあるため、単に個人の技術が高いだけでは勝てず、お互いの長所を活かし、短所をカバーし合う深い信頼関係が勝敗の鍵を握るおもしろさがあります。このように非常に奥が深く、ハードな側面を持つ卓球ですが、その一方で最大の魅力は、「誰でも気軽に始められ、生涯を通じて楽しめる」という点にあります。選手同士の激しい接触がないため、大きなケガのリスクが非常に低いのが特徴です。ラケットとボール、そして卓球台さえあれば、性別や年齢を問わずすぐにプレーできる手軽さがあります。そのため、大学に入ってから卓球を始めるという人も決して少

なくありません。実際、私たち宮崎大学医学部卓球部の現役部員の中にも、大学からラケットを握り始めた初心者が半数以上在籍しています。部内では、長年競技を続けてきた経験者の先輩たちが、初心者の部員に丁寧に指導する様子がしばしば見受けられます。部員によって卓球にかける思いは様々で、大会で好成績を残すことを目指して技術を磨く部員もいれば、日々の学業の息抜きとして、仲間と楽しみながら上達することを目標にしている部員もいます。それぞれが目標を持ち、それに向けて日々取り組めることがこの部の大きな特徴だと思います。

さて、私たち宮崎大学医学部卓球部は現在、男子17名、女子19名、計36名で活動しています。医学科と看護学科の学生がともに在籍しており、普段の講義や実習の枠を越えて、学年や学科の垣根なくアットホームなところが自慢です。男女ともに週3回、清武キャンパスの体育館に集まって練習を行っています。練習時間の中では、基礎的な技術はもちろん、それぞれの部員が自分の取り組みたい技術や練習に打ち込んでいます。その中ではお互いにアドバイスを送り合いながら切磋琢磨する様子が見受けられ、非常に活気のある部活です。私たちが年間を通じて出場する主な大会は、九州・山口医科学生体育大会（九山）、西日本医科学生体育大会（西医体）の2大会です。これらの大会は、日頃の練習の成果を試す最高の舞台であり、目標に掲げている部員が多いです。今年度、久留米で行われた九山では、日頃の練習の成果が実を結び、宮医卓球部にとって大変輝かしい結果

を残すことができました。特に、女子団体においてはチーム全員が一丸となって激戦を勝ち抜き、見事に「優勝」を果たすことができ、チーム全体が大きな歓喜と感動に包まれました。更に個人の部においても素晴らしい躍進が続き、女子個人（シングルス）で「準優勝」と「ベスト8」、男子個人（シングルス）でも「ベスト8」という優秀な成績を収めることができました。また、近年の大会ではなかなか上位入賞に届かず、部としても悔しい思いを重ねてきたダブルス種目においても、今回は女子ダブルスで「準優勝」という素晴らしい結果を掴み取ることができました。試合中の緊迫した場面でも、お互いに声を掛け合って励まし合い、戦術の共有を徹底してきた成果が最高の形で出た瞬間であり、部全体にとって大きな自信になりました。現在は、西医体での上位入賞に向けて、次のステップへと動き出しています。春に新しく入部してくれた元気な1年生たちとともに、チーム一丸となって日々の練習にこれまで以上の熱量で励んでいます。

また、私たちは日々の練習だけでなく、年間を通じてさまざまなイベントや行事を開催しています。例えば、春には新しく大学の門を叩いた仲間を歓迎する新入生歓迎会、冬には一年の活動をみんなで労い合う忘年会があり、これらは部員同士の親睦を深め、学年を越えた交流を行う大切な機会となっています。また例年11月には、部の伝統であるOB会を開催しておりま

す。医療の第一線で医師や看護師としてご活躍されている多くのOB、OGの皆様が、お忙しいスケジュールの合間を縫って清武キャンパスへと集まってくださり、現役部員とラケットを交えて交流を深めております。先輩方から頂く温かい激励の言葉や、医療人としての心構えなどのお話は、私たちにとって大きな励みとなっています。更に秋の学祭では例年、1～3年生が中心となって模擬店を出店しています。毎年、試行錯誤しながらたい焼きを作って販売するのが宮医卓球部の定番の出し物となっており、みんなで協力して焼き上げております。こうした部活以外のイベントも、部員たちにとって学生生活のかけがえのない思い出の一つとなっています。

最後になりますが、私たち宮医卓球部が、このように充実した環境で不自由なく部活動を行い、有意義な学生生活を送らせていただいているのは、決して自分たちの力だけによるものではありません。いつも温かいご指導と多大なるご支援をくださる宮医卓球部のOB・OGの先輩方、私たちの活動を温かく見守り支えてくださる宮崎県医師会の先生方、そして日頃から部活動をご理解いただき応援してくださる宮崎県民の皆様の方々の多大なるご支援があって初めて、私たちは大好きな卓球に打ち込むことができている。部員一同、この恵まれた環境に心より感謝申し上げます。今後とも宮崎大学医学部卓球部をどうぞよろしくお願いいたします。



九山の大会写真

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
6月8日	・病院の賃上げ・物価上昇に対する支援事業の申請受付期間の延長について ・電子的診療情報連携体制整備加算における地域医療情報連携ネットワークに関連する施設基準について ・経済産業省による令和7年度補正予算省エネ・非化石転換補助金の2次公募期間等について（情報提供） ・令和8年8月からの特定入所者介護（予防）サービス費の見直し等に係る周知への協力依頼について ・令和8年度介護事業実態調査（介護従事者処遇状況等調査）へのご協力依頼について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・中東情勢を踏まえた調剤された薬剤に使用する容器又は被包をはじめとした医療用物資等の安定供給に関する協力依頼 ・コンサータの安定供給について ・アーウィナーゼ筋注用10000の使用期限の取扱いについて ・「臓器のあっせん業の許可等について」に係る質疑応答集」の制定について ・梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について ・令和8年度厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会（第1回）のご案内について ・令和8年度厚生労働省委託事業「重症患者診療体制整備事業（ECMO・人工呼吸器管理研修）」の実施について ・疑義解釈資料の送付について（その7） ・療養の給付と直接関係ないサービス等の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について ・「令和6年度診療報酬改定による恒常的な感染症対応への見直しを踏まえた新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の取扱い等について」等の廃止について ・固形腫瘍を対象とした遺伝子パネル検査の取扱いについて ・労災診療費算定基準の改定、意見書等の費用の改正及び診断書（障害）様式の改正について ・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について ・令和8年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行について ・「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次（後期）～」について ・香りへの配慮に関する啓発ポスターの再周知について ・国民年金第1号被保険者の育児期間に係る国民年金保険料免除制度の周知について（協力依頼）について ・令和8年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集への協力依頼について

送付日	文 書 名
6月9日	・高性能AIの悪用リスクを踏まえたサイバーセキュリティ対策の強化について（医療機関向け注意喚起）（通知） ・令和8年医療施設静態調査，患者調査，受療行動調査の協力依頼について ・介護支援専門員等の在宅介護従事者の安全確保の徹底について ・多剤耐性緑膿菌（MDRP）感染症等に係る試験検査の実施について ・コルヒチンの使用にあたっての留意事項について ・広告可能な診療科名の改正について（通知） ・「「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を受けたエボラ出血熱に係る協力依頼」別添の一部改正について ・労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整理等に関する政令等の施行について（個人事業者等の安全衛生対策の推進に係る規定関係）
6月12日	・第48回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会並びに県民公開講座の開催について（ご案内） ・医療機関への支援に関する「重点支援地方交付金」の活用について ・医療機関のサイバーセキュリティ向上に繋がる取組について（周知依頼） ・令和8年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について（通知） ・保険医療機関等の遡及指定及び機能移転の取扱いについて ・地域医療支援病院の業務報告書の提出方法について ・令和8年度厚生労働省委託事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」における在宅医療の体制整備・運用に関する相談窓口の設置について ・厚生労働省令和8年度介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式生産性向上ビギナーセミナー・フォローアップセミナー（講義形式・ワーク形式）参加案内・周知のお願い（情報提供） ・「令和6・7年度産業保健委員会答申書」及び「嘱託産業医の心得と契約書の手引き」の送付について ・コルヒチン製剤の医薬品医療機器法上の用法及び用量の一部変更について ・「使用上の注意」の改訂について ・「健康保険法等の一部を改正する法律」の公布について（通知） ・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等の一部改正等について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・「特定機能病院に関する事項について」の一部改正等について ・「リスデキサソフェタミンメシル酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について」の一部改正について
6月19日	・令和8年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」におけるe-ラーニング研修の開催について ・令和8年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」における「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」（第1回・第2回）の実施について ・令和8年度厚生労働省委託事業「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業」における「在宅医療に必要な連携を担う拠点に関する説明会」の開催及び伴走支援実施地域の募集について

送付日	文 書 名
6月19日	・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・令和8年度エイジフレンドリー補助金等の周知・広報について（お願い） ・HTLV-1に関する水平感染のリスクを踏まえた普及啓発について（協力依頼） ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について ・【情報提供】「令和8年度ACCe-learning」受講案内について ・令和8年度ICTを活用した在宅看取りに関する研修推進事業「医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会」の開催について ・「医療計画について」及び「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」の一部改正並びに第8次医療計画における精神病床に係る基準病床数について ・「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する命令の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について ・「令和8年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施」及び「医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正」等について
6月23日	・厚生労働省令和8年度電子処方箋オンライン説明会の実施について（周知依頼） ・2027年度以降の日本医師会定期刊行物の送付について ・「医療IT委員会答申」の送付について ・公益社団法人国民健康保険中央会運用LIFEへの移行に係る再度の周知について ・令和7年職場における熱中症の発生状況（確定値）等について ・厚生労働省令和8年度補助金事業『医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業』『医療通訳配置等間接補助事業』実施団体（医療機関）の公募について ・医薬品安全管理責任者が行う従業者に対する医薬品の安全使用のための研修について（協力依頼） ・「使用上の注意」の改訂について ・「日本医師会生涯教育カリキュラム＜2016＞」の一部改訂について ・「病院等における医療の安全を確保するための措置について」の一部修正について ・「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う留意事項等について」の一部修正について ・炭酸リチウム製剤の安全対策に関する留意事項について
6月26日	・病床数適正化緊急支援事業の申請について（通知） ・令和8年度診療所における医療情報システムのサイバーセキュリティ対策に係る調査について ・GLP-1受容体作動薬及びGIP/GLP-1受容体作動薬の適正使用について ・都道府県における病院薬剤師確保の手引きについて ・「介護老人福祉施設等における診療行為に係る報酬の給付調整」に関するリーフレットの一部見直しについて（周知依頼） ・松本会長インタビュー記事掲載『トランヴェール』の周知へのご協力をお願い ・「保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第2条の3の2第1項に規定する経済上の利益の提供による誘引の禁止について」及び「保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第2条の3の2第2項に規定する経済上の利益の提供による誘引の禁止について」

送付日	文 書 名
6月26日	・令和8年度厚生労働省委託事業「在宅医療・救急医療連携にかかる調査・セミナー事業」について ・令和8年度いじめ重大事態調査に係る調査委員候補者を対象とした研修会の実施について（周知依頼） ・科学的介護情報システム（LIFE）研修会の周知について ・代謝機能障害関連脂肪肝炎の効能又は効果を有するセマグルチド（遺伝子組換え）製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・サデルガカプセル100mg等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・エフィエント錠2.5mg及び同錠3.75mg等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤及び抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・介護保険法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知） ・「特定細胞加工物の微生物学的安全性に関する指針」の一部改正について（通知） ・令和8年6月24日から的大雨に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について
6月30日	・「令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和8年度調査）への協力依頼について」の送付について ・「日医かかりつけ医機能研修制度令和8年度応用研修会第2,3回（Web講習会）」の開催について ・令和8年度国民保護共同訓練の実施について ・宮崎県病院薬剤師奨学金返還支援事業に関する実態調査について（依頼） ・疑義解釈資料の送付について（その9） ・信用保証協会によるセーフティネット保証5号について（情報提供） ・令和8年6月24日から的大雨に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和8年6月24日から的大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和8年6月24日から的大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和8年6月24日から的大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和8年6月24日から的大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和8年6月24日から的大雨に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その2）

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介します。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（小川）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき

この7月にいよいよ還暦を迎えます。最近死について考えたり、学んだりすることが多くなりました。私なりの「終活」について触れたいと思います。

私は医師になってから常に死と向き合ってきました。若いころから患者を看取ることが業務として日常茶飯事でした。そのころは他者の死を見る機会があってもいわば「他人事」でした。当時祖父や祖母の死を経験してい

ましたが、私とは世代がかけ離れていて遠方にいたこともあり、死とは遠い位置にいるという認識で、自らの死について深く考察することはありませんでした。

しかし、医師として30年以上過ごしてきた今、更におびただしい患者の死を経験しました。去年は肉親である父や義父母を亡くす経験をし、患者の死や自分の死とも異なるが、身近な人の死に家族・遺族として対面しました。自身の年齢とも重なり、死を身近なものとして考える機会となりました。加えて一昨年から緩和ケア病棟に勤務するようになり、患者の死にゆくプロセスに医療者として向き合ったことが、私の死について再考する転機となったことは疑いありません。

医師として多くの死を経験し、複数の家族の死に直面しても自分自身の死はたった1回です。若いころには避けて通るようにしていた死ですが、年齢を重ねた今では当然やってくるものとして受け入れられるようになりました。現在死についてさまざまな立場から記された書籍を読み漁っています。同世代の人と死についてともに考える機会もいずれは持ちたいと考えています。

(高橋)

* * *

今月号の「国公立病院だより」椎葉村国民健康保険病院吉持厳信先生の記事を拝読しました。私は、医師3～4年目に吉持先生のもとで地域医療をしていました。懐かしさを感じるとともに、自分の医師としての原点は椎葉村だなとあらためて思いました。悩むこともうまくいかないことも多いですが、「かてーり（＝困難を乗り越えるための相互扶助の精神）」の心のもと、誠実に日々の医療を行っていけば、自ずと解決につながっていくという言葉に勇気をもらいました。

(高村)

* * *

6月13日(土)に音楽祭が開催され、約500名の方々にご来場いただきました。私はすずかけ太鼓の部員として出演いたしました。当日までの1か月半、週4回の練習を重ね、その成果を本番で十分に発揮できたと考えております。今後は、6月末の期末試験、8月のOSCE、9月のCBTの合格に向けて、全力で学業に邁進してまいります。

(日高)

* * *

AIがさまざまな形で話題になる昨今ですが、“ローマ教皇はAIによる説法を禁じた”とWeb情報にありました。また僧侶の業界紙には、AIで戒名を作ることに批判的な記事が載ったようです。一方、京都大学では仏教AIヒューマノイドロボット「ブッダロイド」が開発されているそうです。医学のみならず、宗教の世界でもテクノロジーは無縁ではないようです。ロボットに祈るのはちょっと…と思うのは私だけでしょうか？

(池田)

先日、趣味の舞台観劇のために宝塚大劇場へ行きました。現在は江戸川乱歩作の『黒蜥蜴』を宝塚版としてアレンジした舞台を上演中です。主演の方が好きで楽しみにしていたのですが、「この人のこんな役がみたい」というファンの願望が存分に叶えられたような明智小五郎で、大満足でした。宝塚の街はちょうど紫陽花が満開で、私はあの街全体のおとぎめいた雰囲気大好きです。次の観劇までまた勉強もバイトも頑張ろうと思える幸せな週末でした。

(安丸)

* * *

阿部前監督とチャットGPTの一件は、若い世代にAIが想像以上に浸透していることを示す衝撃的なニュースでした。意思決定の初期段階からAIの答えを強く信じてしまう傾向は危険と感じますが、医療現場でも同様に、受診前にAIで調べた情報を前提に相談されることが増えています。しかし実際は、同じような症状でも既往歴や生活背景によって診断や治療は大きく異なります。今こそ、医師が経験と最新の知識をふまえて、責任を持って丁寧に判断する姿勢がより重要だと考えます。

(竹尾)

* * *

今期から会計担当理事を拝命しました。自院診療所経営に関してはすべて妻任せです。よって会計関係は全くの素人。そこで先日「会計の基本」なる書物を購入しました。この年でどこまで理解できるかわかりませんが、久しぶりの学習により普段使用していない脳細胞を少しでも活性化できればと考えております。

(高木)

今月のトピックス

会長のページ 医師不足問題(再)

宮崎県が抱える深刻な医師不足と地域偏在の問題を取り上げられています。地域枠制度や臨床研修制度の課題、医局制度が果たしてきた役割、更には将来の医師養成のあり方について考察。持続可能な地域医療を実現するために、医師確保と適正配置の方策をあらためて問いかける内容です。 3 ページ

日州医談 腎不全と緩和ケア

一冊のノンフィクションが社会を動かし、腎不全終末期医療のあり方に大きな変化をもたらしました。透析の見合わせや中止を選択した患者への緩和ケアをめぐる制度改正の背景と課題を通して、患者の思いを医療や政策にどう反映していくべきかを考えさせられました。 4 ページ

はまゆう随筆 ～神様へのお礼とお返し～

今年、米寿を迎えられた先生が、自らの癌治療を契機に人生を振り返ります。幾度もの生死の体験を経て、生かされてきた命への感謝と、残された人生を社会への恩返しに捧げたいという思いが綴られています。大先輩の言葉に、医師としても人としても背筋が伸びる思いがしました。 10ページ

はまゆう随筆 カメラ

真冬の北海道・鶴居村でタンチョウの飛び立つ瞬間を待ちながら、カメラの進化と時代の変化を実感した一編です。フィルムからデジタル、そしてミラーレスへ。写真撮影の楽しさと奥深さが伝わり、私も思わずカメラ屋さんに足を運びたくくなりました。 10ページ

診療メモ 高齢者の交通事故に潜む不整脈性意識障害 - “操作ミス”だけでは説明できない循環器学的視点 -

高齢者の交通事故や転倒の背景に、不整脈による意識障害が隠れていることがあります。循環器内科医の視点から見逃されやすい症状や診断のポイントを解説しながら、「年齢のせい」「認知症だから」と決めつけず、患者さんの声に耳を傾けることの重要性を教えてくれる興味深い診療メモです。 60ページ

(文責：永野 元章)

日 州 医 事 第923号(令和8年7月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<https://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 永野 元章

副 委 員 長 下窪 徹, 高村 一紘

委 員 高橋 聡, 川畑 武彦, 竹尾 輝久,
池田 俊郎, 持田 幸代

学 生 委 員 野間 貫太, 安丸 佳苗, 富田あさひ, 日高 想大

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 田畑 直人, 高木 純一, 河原 勝博, 児玉 由紀

事 務 局 学術広報課 小川 道隆, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)